I施設の概要	I施設の概要			\$ \$04-03-01		
施設名	石浜ふれあし	(1)館				
所在地	南千住三丁	目28番2号				
部課名	区民生活部區	区民施設課				
佐凯の屋麻	時期	建築費	財源内]容(単位:	千円)	
施設の履歴	时机	(単位:千円)	国・都	一般財源		
建築	平成25年	414, 233				
増改築①						
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	平成25年	53月12日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成25年	平4月1日	職員数	0	21	
構造	鉄筋コンク	フリート造	階層 地上4階			
面積	敷地	.面積	1, 018. 44 m²			
山頂	延床	面積	1, 105. 0			
設置目的・経緯			広い世代の交		舌動を促進	
以自口的。性性	することに。	より心豊かな	地域社会の形	成を図る		
関連部署						
根拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則			
設置条例	例 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		リアフリー	■ エレベータ		レ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	▲ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ	





π	答 理	雷坐	$\boldsymbol{\sigma}$	状況
ш	官理	1字 尽	w	1人 汀.

管理形態	指定管理	株式会社 日本デイケアセンター	期間	平成31年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
事業内容		エーション事業 句け、世代間交流事業 など		
対象者	一般区民他			
ょうは問生	運営時間	午前9時~午後10時	•	

連営時間等 休日 年末在始

		1/10口	平木平 炉				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)	33, 422	29, 406	22, 593	29, 456	13, 122
設	貸室利用	者数(人)	5, 158	4, 342	1, 265	1, 021	3, 336
基	開館日数	(日)	357	358	303	357	357
本	利用者評	価(%) ※	52	51	62	48	-
デ	指定管理	料(千円)	45, 861	52, 267	50, 593	53, 559	53, 559
		者の支出合計(千月			43, 751	41, 052	
タ	指定管理	者の人件費(千円	3) 27, 076	28, 746	27, 329	24, 409	29, 400
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の客	i e				
に指	運営費		1, 959	2, 473		2, 213	
用係定	管理費		12, 849	14, 058	13, 449	14, 016	
等る管	人件費		27, 076				
費理	修繕費		635	610	212	414	688
							· ·

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

ш Ж	<u>121 </u>	潜表 勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度		<u>绝位:千円)</u> 差額
		給与関係費	1/2千度	10年度	<u> </u>	地方税等	八十尺	10千皮	<u> </u>
		物件費	54, 040	69, 809	15, 769		0	150	150
行		維持補修費	04, 040	09, 809	15, 709	行 都支出金	274	128	<u> 130</u>
政	\ <u>_</u> _		0	0	0		2/4	0	A 140
⊐	行	扶助費	3	55	52	以分担金及び負担金	57	54	(≜ 3
ス	政	補助費等)			入 使用料及び手数料	797		
۲	費田	減価償却費	12, 361	12, 361	0	C 44 10		3, 024	2, 227
計	Ж	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		1, 128	3, 356	2, 228
算書		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 65, 276	▲ 78, 869	▲ 13, 593
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 1,838	▲ 1, 685	153
	-1.1	行政費用合計(b)	66, 404	82, 225	15, 821	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 67, 114	▲ 80, 554	▲ 13, 440
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	(
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 67, 114	▲ 80, 554	▲ 13, 440
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	16, 479	16, 633	154
	当資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	(
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	16, 479	16, 633	154
1\		有形固定資産	321, 939	309, 578	1 2, 361	賞与引当金	0	0	(
貸借		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	(
対	_	建物	395, 858	395, 858	0	固定負債	146, 141	129, 508	▲ 16, 633
四四	固定	建物減価償却累計額	▲ 85, 505	▲ 96, 194	1 0, 689	特別区債	146, 141	129, 508	▲ 16, 633
照表	上資	工作物等	24, 971	24, 971	0	退職給与引当金	0	0	(
10	産産	工作物等減価償却累計額	▲ 13, 384	▲ 15, 057	1 ,673	その他の固定負債	0	0	(
	生	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	162, 620	146, 141	▲ 16, 479
		建設仮勘定	0	0		正味財産	159, 319	163, 437	4, 118
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	159, 319	163, 437	4, 118
	資	産の部合計	321, 939	309, 578		負債及び正味財産の部合計	321, 939	309, 578	1 2, 36

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	18		24	26. 4			
財	1㎡当たりコスト(円)	53, 393	60, 238	60, 091	74, 408			
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	64	63	63	59. 5			
岩	経費に占める収入の割合(%)	1	1	2	4. 1			
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 529	1, 972	2, 783				
1示	開館1日当たりコスト(円)	165, 275	185, 941	219, 155	230, 322			
評								
一価								
指								
標								
等								
चं								
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。							

『学の士白州(武等の老さ士)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)								
計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)								
	指標名・単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み)								
目標指標	施設稼働率 (%)								
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()								
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無 (変更内容:								
利用者・地域のニーズ	イフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開								
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。								
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。								
議会、利用者等からの意見									

I施設の概要				S04	-03-02		
施設名	南千住ふれる	あい館					
所在地	南千住六丁	∃36番13号					
部課名	区民生活部區	区民施設課					
佐凯の屋麻	時期 建築費		財源内容(単位:千円)				
施設の履歴	时机	(単位:千円)	国・都	・都 区債 一般!			
建築	平成24年	630, 672					
増改築①							
増改築②							
併設施設							
竣工年月日	平成244	年3月1日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成24年	年4月1日	職員数	0	16		
構造	鉄筋コンク	クリート造	階層 地上3階				
面積	敷地	.面積	1, 168. 96 m ²				
四1貝		面積	1, 419. 15 m				
設置目的 • 経緯		高齢者まで幅			舌動を促進		
以自口切。性性	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	成を図る			
関連部署							
根拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則				
設置条例		あい館管理運					
駐車場の状況	2台 バ	「リアフリー	● エレベータ		レ		
駐輪場の状況	60台	対応状況	▲ 点字ブロッ	<i>」</i> ク	コープ		





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社	ポピンズエデュケア	期間	令和5年3月31日	まで
市業出売	・児童育成事業・高齢者レクリ	エーション事業				

事業内容

・中高生・成人向け、世代間交流事業

・貸室事業

対象者 -般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 休日 年末年始 運営時間等

		14日 年2	木平妇				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加:	者数(人)	48, 702	40, 527	19, 572	29, 158	28, 050
設	貸室利用:	者数(人)	22, 268	22, 808	11, 331	16, 044	19, 572
基	開館日数	(日)	357	358	303	357	357
本	利用者評	価(%) ※	38	48	40	46	_
デ	指定管理	料(千円)	56, 618	57, 352	57, 871	59, 170	59, 565
	指定管理者	当の支出合計(千円)	55, 876	55, 975	56, 765	57, 776	57, 253
タ	指定管理	者の人件費(千円)	35, 808	33, 764	35, 383	36, 807	33, 470
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		1, 756	1, 724		1, 608	2, 000
用係定	管理費		17, 701	19, 610		17, 893	19, 262
等る管	人件費		35, 808	33, 764	35, 383	36, 807	33, 470
費理	修繕費		611	877	2, 133	1, 468	2, 521

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	}務諸表								
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i> _		物件費	60, 141	60, 024	▲ 117	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	0	0	都支出金 政 公司公司 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	282	115	▲ 167
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	59	125	66	^収 使用料及び手数料	693	861	168
	費	減価償却費	15, 475	15, 475	0	へその他	43	1, 488	1, 445
=+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 018	2, 614	1, 596
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 74, 657	▲ 73, 010	1, 647
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 208	▲ 2, 941	267
		行政費用合計(b)	75, 675	75, 624		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 77, 865	▲ 75, 951	1, 914
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 77, 865	▲ 75, 951	1, 914
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	20, 085	20, 355	270
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	20, 085	20, 355	270
岱		有形固定資産	479, 012	463, 537	▲ 15, 475		0	0	0
貸借対照表		土地	62, 202	62, 202	0	その他の流動負債	0	0	0
쉬	E	建物	544, 572	544, 572		固定負債	205, 395	185, 040	▲ 20, 355
昭	固定	建物減価償却累計額	1 32, 331	1 47, 034	1 4, 703		205, 395	185, 040	▲ 20, 355
表	資	工作物等	11, 510	11, 510	0		0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 941	▲ 7, 712	▲ 771	その他の固定負債	0	0	0
	1/-	無形固定資産	0	0		負債の部合計	225, 480	205, 395	▲ 20, 085
		建設仮勘定	0	0		正味財産	253, 532	258, 142	4, 610
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	253, 532	258, 142	4, 610
	資	産の部合計	479, 012	463, 537	▲ 15, 475	負債及び正味財産の部合計	479, 012	463, 537	▲ 15, 475
/供									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	20	22	25. 0	27. 8			
財	1㎡当たりコスト(円)	48, 925	49, 616	50, 566	50, 532			
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	64	60	62	63. 7			
指	経費に占める収入の割合(%)	3	2	1	3. 5			
標	利用者1人当たりのコスト(円)	1, 032	1, 172	2, 449	1, 673			
1示	開館1日当たりコスト(円)	205, 092	207, 411	249, 752	211, 832			
評								
一価								
指								
標								
等								
寸								
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。							

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○無 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)
目標指標	指標名・単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み) 由標値
 施設運営の方向性	実績値 54 55 61 56 —
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。
議会、利用者等 からの意見	

I施	設の概要			施設コート	\$ S04	4-03-03	
	施設名	南千住駅前。	ふれあい館				
	所在地	南千住七丁	目1番1-208号				
	部課名	区民生活部	区民施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都	· 容(単位: 区債	千円) 一般財源	
	建築	平成22年	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ш н		nan m	
	増改築①						
	増改築②						
1	并設施設						
竣	工年月日	平成22年2月1日			区職員	その他	
供用	開始年月日	平成22年4月1日		職員数	C	20	
	構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上28階、地下1階建のうちの2・3階部分		
	面積	敷地	.面積	アクレスティ南千住敷地内 r			
	山 作	延床	面積	1, 037. 45 m ²			
10.13	目的・経緯			広い世代の交		活動を促進	
以但	「ロロカ」が手が井	することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
	関連部署						
根	拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則			
Ī	设置条例	荒川区ふれる	あい館管理運	営要綱			
駐車	車場の状況	区民事務所共用 /	リアフリー	● エレベーク	≯ — ● ト・	イレ	
駐車	論場の状況	区民事務所共用	対応状況	● 点字ブロ	ック ス	ロープ	





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社	日本デイケアセンター	期間	令和3年4月1日 令和8年3月31日	から まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリ ・中高生・成人[エーション事業	事業			

• 貸室事業 対象者 -般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 休日 年末年始 運営時間等

			<u>木牛畑</u>				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)	54, 951	47, 621	21, 718	27, 126	
設	貸室利用	者数(人)	43, 178	39, 599	20, 562	30, 735	
基	開館日数	(日)	357	358	303	357	357
本	利用者評	価(%) ※	52	37	59	41	-
デ	指定管理	料(千円)	44, 825	45, 435	45, 480	60, 004	
	指定管理	者の支出合計(千円)	44, 337	42, 868	41, 102	44, 600	50, 946
タ	指定管理	者の人件費(千円)	29, 482	28, 366	27, 161	28, 735	32, 130
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 207	1, 522	1, 344	1, 659	2, 700
用係定	管理費		12, 138	12, 486	11, 780	13, 726	15, 133
等る管	人件費		29, 482	28, 366	27, 161	28, 819	
費理	修繕費		510	494	817	677	984

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i> _		物件費	51, 155	65, 517	14, 362	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	0	0	都支出金 政 公司公司 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	242	88	▲ 154
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コっ	政	補助費等	11, 171	11, 132	▲ 39	は 使用料及び手数料	846	958	112
スト計	費	減価償却費	10, 656	10, 656	0	へその他	2, 743	3, 957	1, 214
	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 831	5, 153	1, 322
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 69, 151	▲ 82, 152	1 3, 001
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	72, 982	87, 305	14, 323	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 69, 151	▲ 82, 152	1 3, 001
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 69, 151	▲ 82, 152	1 3, 001
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
<u>14</u>		有形固定資産	674, 443	663, 788	▲ 10, 655	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	397, 000	397, 000	0	その他の流動負債	0	0	0
 	l ₌	建物	394, 656	394, 656		固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	117 , 213	127 , 869	▲ 10, 656		0	0	0
表	資	工作物等	0	0	0		0	0	0
1	産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	ているの回た民族	0	0	0
	产	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	677, 443	666, 788	▲ 10, 655
		その他の固定資産	3, 000	3, 000		正味財産の部合計	677, 443	666, 788	▲ 10, 655
	資	産の部合計	677, 443	666, 788	▲ 10, 655	負債及び正味財産の部合計	677, 443	666, 788	▲ 10, 655
/供									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	24	27. 0	30	32. 4				
財	1㎡当たりコスト(円)	69, 965	70, 974	70, 347	84, 153				
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	67	66	66	64. 4				
岩	経費に占める収入の割合(%)	5	7	5	5. 9				
指標	利用者1人当たりコスト(円)	740		1, 726	1, 509				
175	開館1日当たりコスト(円)	203, 319	205, 676	240, 865	244, 552				
評									
一価									
指									
標									
等									
₹									
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。								

B学の士白州 (配答の字

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)							
計画の有無	┃ 〇 無							
	指標名・単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み)							
目標指標	施設稼働率 (%)							
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()							
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無							
利用者・地域のニーズ	フスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開							
現状・課題	 ○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 							
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。							
議会、利用者等からの意見								

I施	設の概要			施設コート	š S04	-03-04	
	施設名	汐入ふれる	らい館 あい にんしゅう こうしょう かんだい かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう				
	所在地	南千住八丁	「目2番2 号				
	部課名	区民生活部	『区民施設課				
th	いの屋田	D土 #B	建築費	財源内容(単位:千円)			
力也	設の履歴	時期	(単位:千円)	国・都	一般財源		
	建築	平成13年	356, 192				
	増改築①						
	増改築②						
1	并設施設						
竣工年月日 平成13年3月30E			3年3月30日		区職員	その他	
供用	開始年月日	平成1	7年4月1日	職員数	0	11	
	構造	釒	快骨造	階層	地上3階建の	うち2・3階部分	
	面積	敷	地面積	汐入小学校敷地内 ㎡			
	山作	延	床面積	1, 278. 63 m ²			
シェ	目的・経緯		高齢者まで幅			活動を促進	
改旦	[日内,班姆	することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
Į.	関連部署						
根	拠法令等	荒川区ふれ	ιあい館条例・	同施行規則			
Ī	設置条例	荒川区ふ∤	ιあい館管理運	営要綱			
駐車	車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーク	ÿ— ● ト⁄	(レ	
駐車	輪場の状況	20台	対応状況	● 点字ブロ:	ック ● ス۱	コープ	





π	管理運営の状況	
щ	6 生连合い10ル	

管理形態	指定管理	社会福祉	社会福祉法人 雲柱社 期間 令和4年4月1日 令和9年3月31日								
事業内容		エーション事業 カけ、世代間交流事業 なと	÷	·							
対象者	一般区民他										
運営時間等	運営時間 休日	午前9時~午後10時 年末年始									
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)				

		T	ヘーカ				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施 設 基	事業参加者	首数(人)	46, 310	38, 911	19, 629	24, 764	39, 288
	貸室利用者	首数(人)	11, 693	12, 048	8, 009	7, 429	
基	開館日数(日)	359	360	304	359	357
本	利用者評価	ਜ਼ (%) ※	36	40	46	30	-
デ	指定管理料	斗(千円)	45, 663	46, 831	41, 223	48, 506	
	指定管理者	の支出合計(千円)	44, 094	44, 156	38, 633	46, 790	
タ	指定管理者	首の人件費(千円)	31, 729	29, 729	27, 145	30, 265	39, 528
等							
		段総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 414	1, 945	1, 775	1, 818	
用係定	管理費		9, 078	9, 521	8, 958	13, 505	
等る管	人件費		31, 729	29, 729	27, 145	30, 265	
費理	修繕費		873	2, 961	755	1, 202	1, 212

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務記	潜表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
行政		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	52, 148	53, 002	854		0	150	150
		維持補修費	0	390	390		250	75	▲ 175
以	行		0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	25	145	120	双 使用料及び手数料	464	510	46
^	費	減価償却費	14, 927	14, 927	0	へその他	6, 355	10, 923	4, 568
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7, 069	11, 658	4, 589
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 60, 031	▲ 56, 806	3, 225
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 130	0	130
		行政費用合計(b)	67, 100	68, 464		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 60, 161	▲ 56, 806	3, 355
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 60, 161	▲ 56, 806	3, 355
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	157, 385	142, 458	1 4, 927		0	0	0
貸 借 対		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
 	固	建物	418, 318	418, 318	0	四人天区	0	0	0
昭	定	建物減価償却累計額	△ 260, 933	▲ 275, 861	1 4, 928		0	0	0
照表	資	工作物等	6, 228	6, 228	0		0	0	0
20	産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 228	▲ 6, 228	0	ての心の四人及民	0	0	0
	-	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	157, 385	142, 458	1 4, 927
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	157, 385	142, 458	▲ 14, 927
	資	産の部合計	157, 385	142, 458	▲ 14, 927	負債及び正味財産の部合計	157, 385	142, 458	▲ 14, 927
/ #									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	56	59	63	66. 4					
財	1㎡当たりコスト(円)	52, 723	69, 376	52, 478	53, 545					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	72	67	70	64. 7					
岩	経費に占める収入の割合(%)	6	16		17. 0					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 162	1, 741	2, 428	2, 127					
1示	開館1日当たりコスト(円)	187, 780	246, 406	220, 724	190, 708					
評										
一価										
指										
標										
等										
寸										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。									

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)							
計画の有無	┃ 〇 無							
	指標名・単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み)							
目標指標	施設稼働率 (%)							
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()							
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無							
利用者・地域のニーズ	イフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開							
現状・課題	 ○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 							
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。							
議会、利用者等からの意見								

I施	設の概要			施設コート	° S04	1-03-08	
	施設名	荒川山吹ふ	れあい館				
	所在地	荒川七丁目(6番8号				
	部課名	区民生活部	区民施設課				
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源	
	建築	平成17年	354, 470		上	州又 深江 加水	
	増改築①						
	増改築②						
	并設施設						
竣	工年月日	平成17年	=12月21日		区職員	その他	
供用	開始年月日	平成18:	年2月1日	職員数	0	11	
	構造	鉄:	骨造	階層	地上3階		
	面積	敷地	也面積	666 m			
	凹傾	延床	面積	1, 230. 26 m			
10.13	目的・経緯		高齢者まで幅			活動を促進	
		することに	より心豊かな	地域社会の形	成を図る		
	関連部署						
-	!拠法令等		あい館条例・				
_	設置条例		あい館管理運				
	車場の状況		バリアフリー	● エレベータ		イレ ・	
駐車	論場の状況	60台	対応状況	▲ 点字ブロッ	ック ● ス	ロープ	





Ⅱ管理運営の状況

平成30年4月1日 令和5年3月31日 特定非営利活動法人 から 管理形態 指定管理 期間 まで 荒川区高年者クラブ連合会 ·児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 事業内容

・貸室事業 対象者 -般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等

		1不日 2	F木牛始				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加:	者数(人)	28, 901	29, 606	14, 540	18, 546	20, 016
設	貸室利用:	者数(人)	22, 926	30, 879	15, 642	22, 289	
基	開館日数	(日)	357	358	303	357	357
	利用者評	価(%) ※	30	34	39	39	-
	指定管理	料(千円)	52, 898	56, 905	53, 784	55, 482	56, 175
	指定管理者	当の支出合計(千円	49, 035	51, 601	49, 505	48, 838	53, 523
タ	指定管理	者の人件費(千円)	30, 591	31, 896	31, 081	31, 106	32, 039
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		1, 830	1, 769	1, 700	1, 916	2, 557
用係定	管理費		15, 754	14, 223	15, 558	14, 864	
等る管	人件費		30, 591	31, 896	31, 081	31, 106	
費理	修繕費		860	3, 713	1, 166	952	1, 859

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>		物件費	56, 086	56, 107	21	∠ 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	253	88	▲ 165
政コ	行		0	0	0		0	0	0
ス	政	補助費等	37	70	33	↑ 使用料及び手数料	683	827	144
^	費	減価償却費	13, 408	13, 328	▲ 80	その他	668	1, 755	1, 087
=+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 604	2, 820	1, 216
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67, 927	▲ 66, 685	1, 242
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 1, 658	▲ 1,364	294
		行政費用合計(b)	69, 531	69, 505		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 69, 585	▲ 68, 049	1, 536
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 69, 585	▲ 68, 049	1, 536
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	16, 241	16, 541	300
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	16, 241	16, 541	300
含		有形固定資産	267, 728	254, 400	▲ 13, 328		0	0	0
貸借対照表		土地	69, 708	69, 708	0	その他の流動負債	0	0	0
24 IE	H	建物	365, 486	365, 486		固定負債	60, 505	43, 964	▲ 16, 541
昭	固定	建物減価償却累計額	1 67, 466	▲ 180, 794	▲ 13, 328		60, 505	43, 964	▲ 16, 541
表	資	工作物等	1, 295	1, 295	0		0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 1, 295	▲ 1, 295	0	しい心の固定民民	0	0	0
	-	無形固定資産	0	0		負債の部合計	76, 746	60, 505	▲ 16, 241
		建設仮勘定	0	0		正味財産	190, 982	193, 895	2, 913
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	190, 982	193, 895	2, 913
	資.	産の部合計	267, 728	254, 400	▲ 13, 328	負債及び正味財産の部合計	267, 728	254, 400	▲ 13, 328
/供									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	39		46. 0	49. 6					
財	1㎡当たりコスト(円)	53, 959	58, 588	56, 517	56, 496					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	62	62	63	63. 7					
岩	経費に占める収入の割合(%)	5	4	2	4. 1					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 281	1, 192	2, 304	1, 702					
1示	開館1日当たりコスト(円)	185, 950	201, 338	229, 475	194, 692					
評										
一価										
指										
標										
等										
-1										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。									

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)								
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)		
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
目標指標	施設稼働率(%)	目標値	_	_		_	_		
	地政物助牛(///	実績値	48	48	52	47	_		
施設運営の方向性	O 転用·多目的化	〇 民営	化 0	他施設との	統合) 廃止			
旭改建名00万间住	● 現状維持	〇 その付	也()		
管理形態の変更の推移	〇 有 (変更内容:)		
自生形態の変更の推移	● 無								
利田孝・地域のニーブ	ライフスタイルや社会的	非星の亦化に	- 広じた事業国	ま 思					
利用省・地域の二 ス	プインスメイルで社会的	月泉の支に、	-心した事業だ	区 刑					
	○指定管理者による設備	保守等委託業	ξ務の報告を違	適正にチェッ	クして計画的	な修繕につ	なげる		
	必要がある。								
現状・課題	○施設の安全や衛生を担	保するため、	指定管理者。	と連携し、研	修等を通じて	[職員の資質	の向上を図		
以	ると共に、施設の維持	管理に要する	る物品等が不足	足することの	ないよう、総	፟፟፟続的に支援	する。		
	○利用者のニーズに沿っ	た館運営によ	こりサービスの	の維持向上を	図って利用者	☆を確保して	いくことが		
	必要である。								
課題に対する	〇指定管理者との連絡・	調整を密にし	/、利用者二-	-ズ及び施設	の老朽化等の	現状把握に	努め、		
現時点での考え	計画的な事業見直し及								
35. 7 5.10		0 //2/2012							
議会、利用者等									
からの意見									

I施設の概要			施設コート	\$ S04	-03-05	
施設名	峡田ふれあ	い館				
所在地	荒川三丁目:	3番10号				
部課名	区民生活部	区民施設課				
施設の履歴	時期	建築費	財源内			
//CIX ** //E/III		(単位:千円)	国・都	区債	一般財源	
建築	平成23年	678, 070				
増改築①						
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	平成23	年2月4日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成23:	年4月1日	職員数	0	16	
構造	鉄筋コン	クリート造	階層 地上3階			
面積	敷地	也面積			1, 295. 36 m ²	
山頂	延床	· 面積	1, 767. 90 n			
設置目的・経緯	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	流と自主的	舌動を促進	
改但日的"桩稱	することに	より心豊かな	地域社会の形	(成を図る		
関連部署						
根拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則			
設置条例	荒川区ふれ	あい館管理運	営要綱			
駐車場の状況	2台 /	バリアフリー	● エレベータ	7 — ● ►1	(レ	
駐輪場の状況	53台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ	





Ⅱ管理運営の状況

令和4年4月1日 から 管理形態 指定管理 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ 期間 令和9年3月31日 まで · 児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 事業内容 ・貸室事業 対象者 -般区民他 運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等 年末年始 休日

	The T	ハール				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	33, 312	30, 202	19, 554	22, 011	17, 472
設	貸室利用者数(人)	42, 161	40, 980	21, 285	29, 224	33, 720
基	開館日数(日)	357	356	301	354	354
本	利用者評価(%) ※	59	43	71	55	_
デ	指定管理料(千円)	46, 571	47, 410	50, 979	51, 670	64, 338
	指定管理者の支出合計(千円)	43, 084	44, 414	46, 540	47, 597	58, 673
タ	指定管理者の人件費(千円)	24, 918	23, 184	26, 638	28, 090	35, 284
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	2, 197	2, 345	1, 957	2, 078	3, 000
用係定 等る管	管理費	14, 877	16, 208	15, 703		18, 713
	人件費	24, 918	23, 184	26, 638	28, 090	
費理	修繕費	1, 092	2, 677	2, 242	1, 676	1, 676

備 ○令和4年度欄の金額は協定額である。

〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務記	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	C
<i>_</i> _		物件費	52, 946	52, 152	▲ 794	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	292	115	▲ 177
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	12	131	119	^収 使用料及び手数料	1, 272	1, 462	190
^-	費	減価償却費	18, 488	18, 488	0	へその他	4, 862	1, 411	▲ 3, 451
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6, 426	3, 138	▲ 3, 288
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 65, 020	▲ 67, 633	▲ 2, 613
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 2, 242	▲ 2, 049	193
		行政費用合計(b)	71, 446	70, 771	▲ 675	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 67, 262	▲ 69, 682	2 , 420
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 67, 262	▲ 69, 682	2 , 420
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	13, 062	13, 259	197
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	C
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	13, 062	13, 259	197
岱		有形固定資産	555, 333	536, 846	▲ 18, 487	賞与引当金	0	0	C
貸借		土地	114, 251	114, 251	0	その他の流動負債	0	0	C
対	固	建物	590, 550			固定負債	126, 772	113, 513	▲ 13, 259
昭	定	建物減価償却累計額	159, 449	175 , 393	▲ 15, 944		126, 772	113, 513	▲ 13, 259
照表	資	工作物等	37, 951	37, 951	0		0	0	C
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 27, 970	▲ 30, 513	▲ 2, 543		0	0	C
	'Z	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	139, 834	126, 772	▲ 13, 062
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	415, 499	410, 074	▲ 5, 425
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	415, 499	410, 074	▲ 5, 425
	資	産の部合計	555, 333	536, 846	▲ 18, 487	負債及び正味財産の部合計	555, 333	536, 846	▲ 18, 487
借									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	24	27	30	32. 8					
財	1㎡当たりコスト(円)	28, 949	28, 861	28, 730	28, 459					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	58	52	57	59. 0					
岩	経費に占める収入の割合(%)	7	7	9. 0	4. 4					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	954	1, 008	1, 749						
1示	開館1日当たりコスト(円)	201, 653	201, 607	237, 362	199, 918					
評										
一価										
指										
標										
等										
寸										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね5~6割程度で推移している。									

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)								
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)		
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>	<u> </u>		 54	_		
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合) 廃止)		
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)		
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	丟開					
現状・課題	必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持	施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが							
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、		
議会、利用者等 からの意見									

I 施設	の概要			施設コート	S04	1-03-06
扩	 色設名	三河島ひろ	ば館			
戸	近在地	荒川三丁目	36番4号			
台	部課名	区民生活部	区民施設課			
施記	役の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内国・都	P容(単位: 区債	千円) 一般財源
	建築	昭和46年	(+12:111)		四段	川又 只 7 //示
	増改築①					
	増改築②					
併	設施設					
竣口	L年月日	昭和46	年3月23日		区職員	その他
供用閉	開始年月日	昭和46	年4月15日	職員数	0	3
	構造	そ	· の他	階層	地」	L2階
	面積	敷:	也面積			226 m ²
	山惧		末面積			272 m²
設置目	目的・経緯		i相互交流して ∴の増進を図る			
関	連部署					
根拠	処法令等	荒川区区民	ひろば館条例	・同施行規則	j	
設	置条例	荒川区区民	ひろば館管理	運営要綱		
	場の状況		バリアフリー	O エレベーク		イレ
駐輪	場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● ス	ロープ





Ⅱ管理说	軍営の状況	2										
管理	里形態	委託	三河島ひろ	ば館運営委員会		期間	令和4年4		から			
		1 11 40 46 99 4	<u> </u> 「レクリエーション事業				令和5年3	月31日	まで			
事業												
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)											
電台	時間等	運営時間	午前9時~午後5時(貸	資室事業は午前9時~	·午後1	0時)						
廷占	叩問寸	休日	日曜日、祝日、年末年	F始(貸室事業は年	末年始	のみ)						
			平成30年度	令和元年度	令	和2年度	令和3年度	令和4年度	(見込み)			
施	事業参加	者数(人)	3, 646	3, 463		1, 695	2, 585		2, 898			
設	貸室利用	者数(人)	3, 318	3, 008		1, 264	1, 661		1, 480			
基	開館日数	(日)	359	360		305	359		359			
基 本 デ	委託料人	件費(千円)	5, 778	5, 861		5, 930	6, 170		6, 667			
デ												
タ 等												
等												
に指												
用係定												
等る管												
費理												
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		<u></u> を受け、	、令和2年4月	 8日から5月31日ま	 で休館し <i>t</i>				

皿財	務諸表							(単	<u>位</u> :千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		:与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>i</i> –	物	件費	6, 633	6, 957	324	_年 国庫支出金	0	0	0
行		持補修費	14	0	▲ 14	都支出金	3, 362	3, 466	104
政コ		·助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
		助費等	59	279	220	成けて	7	10	3
1 ^		価償却費	0	0	0	へ その他	9	17	8
計		納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 378	3, 493	115
算		与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3, 328	▲ 3, 743	▲ 415
書		の他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		·政費用合計(b)	6, 706	7, 236		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3, 328	▲ 3, 743	▲ 415
		費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別」	収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 3, 328	▲ 3, 743	▲ 415
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流収	入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		の他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
沓	有	形固定資産	46	46	0	賞与引当金	0	0	0
供		土地	46	46	0	その他の流動負債	0	0	0
++ 10	田	建物	16, 494	16, 494	0	固定負債	0	0	0
ΥV			▲ 16, 494	▲ 16, 494	0	特別区債	0	0	0
昭	분	建物減価償却累計額	▲ 16, 494	— 10, TJT					
対照表	固定資	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
貸借対照表	資 产	工作物等 工作物等減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金 その他の固定負債	0	0	0
が 照 表	資 産 無	工作物等 工作物等減価償却累計額 形固定資産	0 0	0 0 0	0	退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0	0	0
対照表	資 産 無 建	工作物等 工作物等減価償却累計額 形固定資産 設仮勘定	0 0 0	0 0 0	0 0	退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産	0 0 46	0 0 46	0 0 0
対照表	資 産 無 建 そ	工作物等 工作物等減価償却累計額 形固定資産	0 0	0 0 0	0 0 0	退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0	0	0

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0		100.0					
財	1㎡当たりコスト(円)	29, 361	27, 504		26, 600					
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	72	78		85. 3					
指	経費に占める収入の割合(%)	41	45		48. 3					
標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 147	1, 156	2, 266	1, 704					
1775	開館1日当たりコスト(円)	22, 248	20, 783	21, 987	20, 156					
評										
価										
指										
標										
等										
₹										
備考										

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH30年度R元年度R2年度 ○ 無● 有指標名・単位 計画の有無 R3年度 R4年度(見込み) 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 81 実績値 80 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 ●廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他(● 有 (変更内容:平成12年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 〇施設·設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと 現状・課題 が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する 〇施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-07		
	施設名	荒川六丁目で	Jろば館					
	所在地	荒川六丁目3	3番4号					
	部課名	区民生活部区	区民施設課					
1:4	記の履歴	一時期 建築費		財源内容(単位:千円)				
יוני	四段の万段位	中寸光灯	(単位:千円)	国•都	区債	一般財源		
	建築	昭和46年						
	増改築①							
	増改築②							
1	併設施設							
	建工年月日	昭和46年	53月29日		区職員	その他		
供用	開始年月日	昭和46年	¥5月1日	職員数	0	4		
	構造	その	D他	階層	地上	-2階		
	面積	敷地	面積			251 m ²		
	山頂	延床	面積			277 m ²		
記書	置目的・経緯			自主的な活動				
以區	10円2、小子小井	高齢者福祉の	D増進を図る	ためのレクリ	エーション(の場の提供		
	関連部署							
根	! 拠法令等			・同施行規則]			
	設置条例	荒川区区民で	Jろば館管理	運営要綱				
馬主	車場の状況		リアフリー	O エレベーク		レ		
馬主	輪場の状況	7台	対応状況	○ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		



Ⅱ管理道	軍営の状況	2									
管理	里形態	委託	株式会社 ワコー	-インターナショナ	ル期間	令和3年4 令和6年3					
事業	美内容		I ドレクリエーション事業 :会や文化祭等のひろに		流を図る事業	<u>πιυ+υ</u>	7011 L				
対	象者	満60歳以上の者	が(貸室事業は一般区員	民他)							
運営	運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時) 休日 日曜日、祝日、年末年始(貸室事業は年末年始のみ)										
		WH	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)				
施	事業参加	者数(人)	3, 233		1, 082		1, 704				
設	貸室利用		4, 129		1, 684		4, 464				
基	開館日数		359		305						
本データ	委託料人	件費(千円) ※	4, 832	4, 832	5, 829	6, 743	6, 721				
等) (00 fr	, > "									
1- +5	※30年度	から委託化									
に指 用係定											
等る管 費理											
備考			 、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		を受け、令和2年4月	18日から5月31日ま	<u>.</u> で休館した。				

田財	務計	首表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	- U > U > U > U	0	0	0'
<i></i> _		物件費	7, 034	7, 610	576	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	145	47	▲ 98	都支出金 政 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4	3, 189	3, 464	275
政「		扶助費	0	0	0		0	0	0
コス		補助費等	1	0	▲ 1	入 使用料及び手数料	112	127	15
\ \rac{1}{r}		減価償却費	203	203	0	その他	0	0	0
量十	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 301	3, 591	290
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 082	▲ 4, 269	▲ 187
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	7, 383	7, 860		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 082	▲ 4, 269	▲ 187
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特5	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	•	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 082	▲ 4, 269	▲ 187
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸		有形固定資産	24, 039	23, 836		賞与引当金	0	0	0
供供		土地	22, 029	22, 029	0	C **	0	0	0
借対	固	建物	17, 315	17, 315	0	固定負債	0	0	0
昭	定	建物減価償却累計額	▲ 17, 314	▲ 17, 314	0	特別区債	0	0	0
照表	資	工作物等	3, 022	3, 022	0	退職給与引当金	0	0	0
	虚	工作物等減価償却累計額	▲ 1, 013	▲ 1, 215	▲ 202	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	24, 039	23, 836	▲ 203
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	24, 039	23, 836	▲ 203
	2次:	産の部合計	24, 039	23, 836	▲ 203	負債及び正味財産の部合計	24, 039	23, 836	▲ 203

備 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている(平成30年度から委託 代)。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	88	89	90	91. 1					
財	1㎡当たりコスト(円)	28, 175	28, 330		28, 373					
務	人にかかるコストの割合(%)	62	62	72	85. 8					
指	経費に占める収入の割合(%)	42	42	45	45. 7					
標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 060	1, 322	2, 669	3, 054					
1示	開館1日当たりコスト(円)	21, 741	21, 800	24, 207	21, 894					
評										
一価										
指										
標										
等										
₹										
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。									

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH30年度R元年度R2年度 O無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R3年度 R4年度(見込み) 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 実績値 72 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 平成30年4月から運営業務を委託 ●有 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 ○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと 現状・課題 が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する 〇施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施設の概	要			施設コート	š S04	-03-09
施設名	3	町屋ふれあ	い館			
所在₺	也	町屋一丁目	35番8号			
部課名	3	区民生活部	『区民施設課			
佐訳の歴	2 EE	n± ##	建築費	財源内]容(単位:	千円)
施設の原	复定	時期	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源
建	築	平成24年	584, 850			
増改	築①					
増改	(築2)					
併設施	設					
竣工年月	月日	平成24	年2月24日		区職員	その他
供用開始年	₹月日	平成24	4年4月1日	職員数	0	25
構造		鉄筋コン	/クリート造	階層	地上	:3階
面積		敷:	地面積			1, 331. 07 m ²
山頂		延	床面積			1, 494. 30 m ²
設置目的	. 奴结		高齢者まで幅			舌動を促進
改造口的	小土小牛	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る	
関連部	署					
根拠法令	等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則		
設置条	例	荒川区ふれ	しあい館管理運	営要綱		
駐車場の	状況	2台	バリアフリー	● エレベーク	7	レ
駐輪場の	状況	50台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法人 雲柱社	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで
事業内容	・中高生·成人「 ・貸室事業	エーション事業			
対象者	一般区民他				

運営時間等 運営時間 午前9時~午後10時

(生白)	+1) [F] 13	休日 休日	年末年					
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)		65, 169	60, 683	22, 200	29, 421	35, 592
設	貸室利用			39, 174	29, 813	13, 830		
設 基	開館日数			357	358	303	357	357
本	利用者評			43	60	45	55	
デ	指定管理	料(千円)		50, 236	51, 234	52, 357	57, 659	
- 1	指定管理	者の支出合計(千	-円)	49, 099	49, 208	49, 088	54, 341	56, 484
タ	指定管理	者の人件費(千	円)	32, 630	33, 417	35, 511	34, 069	35, 800
等								
	※ふれあい館利用者アンケートの	D施設総合評価において、最も高い評価を選択した人	の割合					
に指	運営費			3, 540	3, 101	2, 200		
用係定	管理費			12, 065	11, 901	10, 541	15, 800	
等る管	人件費			32, 630			34, 069	
費理	修繕費			864	789	836	1, 687	2, 108

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>		物件費	57, 573	42, 786	1 4, 787	∠ 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	209	1, 245	1, 036		295	115	▲ 180
政			0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス			56	83	27	† 使用料及び手数料	776	545	▲ 231
_	費	減価償却費	17, 220	17, 220	0	その他	5, 092	4, 647	▲ 445
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6, 163	5, 457	▲ 706
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 68, 895	▲ 55, 877	13, 018
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 329	▲ 3, 052	277
		行政費用合計(b)	75, 058	61, 334	,	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 72, 224	▲ 58, 929	13, 295
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 72, 224	▲ 58, 929	13, 295
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	20, 833	21, 114	281
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	20, 833	21, 114	281
仓		有形固定資産	924, 379	907, 159	▲ 17, 220	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	469, 140	469, 140	0	その他の流動負債	0	0	0
//	Œ	建物	585, 174	585, 174		固定負債	212, 998	191, 884	▲ 21, 114
昭	固定	建物減価償却累計額	138 , 351	▲ 154, 151	1 5, 800		212, 998	191, 884	▲ 21, 114
表	資	工作物等	21, 200	21, 200	0		0	0	0
20	産	工作物等減価償却累計額	1 2, 783	1 4, 204	▲ 1, 421	その他の固定負債	0	0	0
	1	無形固定資産	0	0		負債の部合計	233, 831	212, 998	2 0, 833
		建設仮勘定	0	0		正味財産	690, 548	694, 161	3, 613
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	690, 548	694, 161	3, 613
	資	産の部合計	924, 379	907, 159	▲ 17, 220	負債及び正味財産の部合計	924, 379	907, 159	▲ 17, 220
借									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	19	22	25	27. 8	
財	1㎡当たりコスト(円)	49, 558	50, 857	50, 230	41, 045	
終	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	67	68	72	62. 7	
務指標	経費に占める収入の割合(%)	4	10		8. 9	
煙	利用者1人当たりコスト(円)	710	840	2, 083	1, 541	
17.5	開館1日当たりコスト(円)	207, 434	212, 277	247, 716	171, 804	
評						
一品						
指						
標						
等						
1						
備考	 指定管理料に占める人にかかるコストの割合は 	概ね6~7割程度	で推移している	0		

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	○ 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
- 1- 11-1-	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値実績値	<u> </u>			65	<u> </u>
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O そのf		他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、維	「職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等からの意見							

I施	設の概要		施設コート	° S04	-03-11			
	施設名	荒木田ふれる	あい館					
	所在地	町屋六丁目1	3番2号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
th	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	時期	建築費	財源内]容(単位:	千円)		
ЛŒ	設の履歴	时规	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
	建築	平成16年	359, 205					
	増改築①							
	増改築②							
1	并設施設							
竣	工年月日	平成16年	10月15日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成16年	10月26日	職員数	0	14		
	構造	鉄	骨造	階層 地上3階				
	面積	敷地	!面積	,		784 m ²		
	山 作	延床	面積	1, 215. 43 m				
記書	目的・経緯		高齢者まで幅			舌動を促進		
以但	一口 ロカー 小王小年	することに。	より心豊かな	地域社会の形	成を図る			
Į.	関連部署							
根	拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則				
Ī	设置条例		あい館管理運					
	車場の状況		バリアフリー	● エレベータ	y —	レ		
駐車	論場の状況	55台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		





Ⅱ管理说	運営の状況	2					
告担	 里形態	指定管理	株式会社 大語	ロエンゼルヘルプ	期間	令和3年4	
67	ニハンル			<u> </u>)A][h]	令和8年3	月31日 まで
	美内容	・中高生·成人 ・貸室事業	^賃 エーション事業 向け、世代間交流事業 など	\$			
対	象者	一般区民他					
運	時間等	運営時間	午前9時~午後10時				
	ᄣᆘᆝᄪᆝᅑ	休日	年末年始				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)	43, 296	34, 548	27, 659	29, 465	29, 472
	貸室利用	者数(人)	34, 894	28, 076	16, 272	22, 881	27, 660
設基本デ	開館日数	(日)	356	357	302	356	356
本	利用者評		32	35	41	45	_
デ	指定管理	料(千円)	44, 986	45, 220	47, 605	59, 802	59, 802
	指定管理	者の支出合計(千)	円) 43,719	45, 160	46, 499	46, 965	55, 602
タ	指定管理	者の人件費(千F	円) 27, 746	28, 057	30, 885	29, 808	35, 400
等							
	※ふれあい館利用者アンケート6	D施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の	割合				
に指	運営費		3, 021	2, 748	1, 551	2, 058	3, 570
用係定	管理費		11, 838	13, 237	12, 917	13, 989	
等る管	人件費		27, 746	28, 057	30, 885	29, 808	35, 400
費理	修繕費		1, 114	1, 118	1, 146	1, 111	1, 152

備考

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計							(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>2</i> -		物件費	49, 214	60, 465	11, 251	∠ 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	425	425	都支出金	288	115	▲ 173
政		扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス		補助費等	112	82	▲ 30	† 使用料及び手数料	1, 159	1, 362	203
_	費	減価償却費	11, 348	11, 348	0	へその他	3, 327	1, 274	2 , 053
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 774	2, 901	▲ 1,873
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 55, 900	▲ 69, 419	▲ 13, 519
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 586	▲ 466	120
		行政費用合計(b)	60, 674	72, 320	11, 646	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 56, 486	▲ 69,885	▲ 13, 399
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 56, 486	▲ 69, 885	1 3, 399
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	8, 092	8, 214	122
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	8, 092	8, 214	122
仓		有形固定資産	558, 017	551, 220	▲ 6, 797	賞与引当金	0	0	0
月		土地	395, 708	395, 708	0	その他の流動負債	0	0	0
 	Œ	建物	343, 875	348, 426		固定負債	25, 014	16, 800	▲ 8, 214
貸借対照表	固定	建物減価償却累計額	181 , 566	▲ 192, 914	▲ 11, 348		25, 014	16, 800	▲ 8, 214
夫	資	工作物等	2, 731	2, 731	0	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	0	0	0
20	産	工作物等減価償却累計額	▲ 2, 731	▲ 2, 731	0	ての心の固定民民	0	0	0
	/ -	無形固定資産	0	0		負債の部合計	33, 106	25, 014	▲ 8, 092
		建設仮勘定	0	0		正味財産	524, 911	526, 206	1, 295
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	524, 911	526, 206	1, 295
	資.	産の部合計	558, 017	551, 220	▲ 6, 797	負債及び正味財産の部合計	558, 017	551, 220	▲ 6, 797
借									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	47	50	53	55. 7	
財	1㎡当たりコスト(円)	49, 597	50, 340	49, 920		
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	64	62	66	63. 5	
指	経費に占める収入の割合(%)	3	7	8	4. 0	
指標	利用者1人当たりコスト(円)	771	977	1, 381	1, 382	
17.5	開館1日当たりコスト(円)	169, 331	171, 387	200, 907	203, 146	
評						
一品						
指						
標						
等						
77						
備考	 指定管理料に占める人にかかるコストの割合は 	概ね6~7割程度	で推移している	0		

施設運営の方向性 (所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース)
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>		<u> </u>	48	- — 3 —
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その)		他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 る物品等が不り	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う、 糾	「職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-10			
	施設名	町屋二丁目で	うろば館						
	所在地	町屋二丁目8	町屋二丁目8番13号						
	部課名	区民生活部	区民生活部区民施設課						
拉	記の履歴	時期	建築費	財源内	羽容(単位:-	千円)			
, Ju	<u>□□又♥プハ麦朮ニ</u>	₽ 寸 7 7]	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	昭和44年							
	増改築①								
	増改築②								
1	併設施設								
	设工年月日	昭和44年	11月20日		区職員	その他			
供用	開始年月日	昭和44年	=12月1日	職員数	0	3			
	構造	その	の他	階層	地上	-2階			
	面積	敷地	.面積			133 m ²			
	山頂		面積			165 m ²			
ション ション・ション ション・ション こうしょう かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かい こうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	置目的・経緯		相互交流して						
以匠	三口口3 小工小年	高齢者福祉の	D増進を図る	ためのレクリ	エーション(の場の提供			
	関連部署								
-	艮拠法令等)ろば館条例]				
į	設置条例)ろば館管理	<u>運営要綱</u>					
馬主-	車場の状況		リアフリー	O エレベーク		(レ <u></u>			
馬主	輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ			



Ⅱ管理道	軍営の状況	2									
	里形態	委託	町屋二	丁目ひ	ろば館運営委員会		期間	令和4年4		から	
							******	令和5年3	月31日	まで	
	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具(高圧電界保健装置等)の設置 ・貸室事業										
対	象者	満60歳以上の者									
13日	時間等	運営時間	午前9時~午後	:5時(貸	資室事業は午前9時~	~午後1	10時)				
连当	叩問寸	休日	日曜日、祝日、	年末年	F始(貸室事業は年	末年始	(のみ)				
			平成30年	丰度	令和元年度	숙	和2年度	令和3年度	令和4年度	(見込み)	
施	事業参加	者数(人)		4, 942	5, 504		2, 418	3, 863		4, 254	
設	貸室利用	者数(人)		3, 920	3, 321		1, 723	1, 337		1, 648	
基	開館日数	(日)		359	360		305	359		359	
本	委託料人	件費(千円)		5, 818	5, 858		5, 966	6, 222		6, 667	
デ											
タ											
等											
に指											
用係定											
等る管											
費理											
備考											

皿財	務記	諸表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>2</i> -		物件費	6, 812	6, 973	161	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	150	101	▲ 49		3, 362	3, 466	104
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	36	216	180	双 使用料及び手数料	41	32	A 9
	費	減価償却費	0	0	0	C **	12	18	6
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 415	3, 516	101
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3, 583	▲ 3, 774	▲ 191
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	6, 998	7, 290		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3, 583	▲ 3, 774	▲ 191
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3, 583	▲ 3, 774	▲ 191
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	- IV > 4 > I > IV	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸		有形固定資産	4, 088	4, 088	0	,, , ,, — —	0	0	0
倶		土地	4, 088	4, 088	0	しい心のが知気は	0	0	0
쉬	固	建物	7, 399	7, 399	0	固定負債	0	0	0
借対照表	定	建物测测 貝 引 糸 計	▲ 7, 399	▲ 7, 399	0		0	0	0
表	資	工作初寺	0	0	0	~_ 13/11 3 3 1 — —	0	0	0
	産	工作物寺減価償却系計額	0	0	0	ての心の四人兵民	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	4, 088	4, 088	0
	L	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	4, 088	4, 088	0
	資	産の部合計	4, 088	4, 088	0	負債及び正味財産の部合計	4, 088	4, 088	0
/±±									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	100. 0	100.0	100. 0	100. 0	
財	1㎡当たりコスト(円)	47, 568	53, 779		44, 214	
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	74	66	85	85. 3	
指	経費に占める収入の割合(%)	42	48. 0		48. 2	
標	利用者1人当たりコスト(円)	885	1, 005	1, 690		
1示	開館1日当たりコスト(円)	21, 847	24, 631	22, 944	20, 306	
評						
一価						
指						
標						
等						
寺						

備 者 一行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7~8割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ維持補修費の 減により行政費用の総額が大幅に減少したため、人に係るコストの割合が相対的に上昇した。

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)
計画の有無	┃ ○ 無
口 +== +比 +==	指標名·単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率 (%) 目標値
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ● 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成10年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託) ○ 無
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実
現状・課題	 ○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。
課題に対する 現時点での考え	〇施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。
議会、利用者等からの意見	

I施	設の概要			施設コート	\$ S04	-03-14	
	施設名	尾久ふれあり	()館				
	所在地	西尾久二丁	目25番13号				
	部課名	区民生活部	区民施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源	
	建築	平成24年	956, 976	— н		1227144	
	増改築①						
	増改築②						
1	并設施設						
竣	工年月日	平成24年	₹3月23日		区職員	その他	
供用	開始年月日	平成24年	年4月1日	職員数	0	16	
	構造	鉄筋コンク	フリート造	階層	地上6階		
	面積	敷地	面積	741 m²			
	山 惧	延床	面積	2, 138. 51 m²			
10.18	目的・経緯		高齢者まで幅			舌動を促進	
以但	「ロロル」が手が井	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	成を図る		
Į.	関連部署						
根	!拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則			
Ī	设置条例	荒川区ふれる	あい館管理運	営要綱			
駐車	車場の状況	2台 バ	「リアフリー	● エレベータ	7 — ● ト1	レ	
駐車	論場の状況	50台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ	





π	答 理	雷坐	$\boldsymbol{\sigma}$	状況
ш	官理	1字 尽	w	1人 汀.

管理形態	指定管理	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ		期間	平成30年4月1日	かり
百年形态	旧化日生	19足牙占利/13/四人	<i>y y y y y</i>	제마	令和5年3月31日	まで
事業内容		ただ。 ローション事業 では、世代間交流事業 でなる				

対象者 ·般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等

年末年始 休日

		N H	ナハナル				
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施 設	事業参加	者数(人)	53, 099	48, 258	28, 757	30, 570	17, 718
	貸室利用		62, 936	56, 684	31, 490	31, 832	19, 784
基	開館日数	(日)	357	358	300	355	355
本	利用者評	価(%) ※	55	43	61	49	_
デ	指定管理	料(千円)	55, 853	60, 571	60, 352	61, 480	62, 122
	指定管理	者の支出合計(千円	3) 55, 169	60, 147	58, 966	60, 614	61, 458
タ	指定管理	者の人件費(千円	32, 799	36, 893	37, 965	37, 340	37, 004
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	D施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割4	1				
に指	運営費		3, 210		2, 665	4, 090	4, 535
用係定等る管理	管理費		17, 799	18, 487	16, 992	17, 831	17, 923
	人件費		32, 799			37, 340	37, 004
費理	修繕費		1, 361	1, 226	1, 344	1, 353	1, 996

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>4</i> -		物件費	62, 338	62, 095	▲ 243	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	1, 429	190	▲ 1, 239	都支出金	325	141	▲ 184
政	行		0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	151	61	▲ 90	7 使用料及び手数料	1, 608	1, 329	▲ 279
\ \frac{1}{k}	費	減価償却費	24, 067	24, 067	0	くその他	455	1, 314	859
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2, 388	2, 934	546
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 85, 597	▲ 83, 479	2, 118
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 5, 339	4 , 896	443
		行政費用合計(b)	87, 985	86, 413		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 90, 936	▲ 88, 375	2, 561
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 90, 936	▲ 88, 375	2, 561
	勘定科目		R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	33, 545	33, 994	449
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	33, 545	33, 994	449
岱		有形固定資産	728, 303	704, 236	4 24, 067	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	69, 619	69, 619	0	その他の流動負債	0	0	0
쉬	田	建物	864, 432	864, 432		固定負債	343, 849	309, 855	▲ 33, 994
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 210, 057	▲ 233, 397	▲ 23, 340		343, 849	309, 855	▲ 33, 994
表	資	工作物等	10, 854	10, 854	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 545	▲ 7, 272	▲ 727	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	377, 394	343, 849	▲ 33, 545
		建設仮勘定	0	0		正味財産	350, 909	360, 387	9, 478
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	350, 909	360, 387	9, 478
	資.	産の部合計	728, 303	704, 236	▲ 24, 067	負債及び正味財産の部合計	728, 303	704, 236	▲ 24, 067
/ ± ±									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	19	22. 0	25	27. 5			
財	1㎡当たりコスト(円)	34, 709	34, 709	39, 564	38, 857			
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	60	61	64	61. 6			
指	経費に占める収入の割合(%)	4. 0	8	3	3. 4			
標	利用者1人当たりコスト(円)	736	874	1, 460	1, 385			
1示	開館1日当たりコスト(円)	239, 297	256, 095	293, 283	243, 417			
評								
一個								
指								
標								
等								
寸								
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。							

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH30年度R元年度R2年度 O 無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 目標値 目標指標 施設稼働率(%)

R4年度(見込み) R3年度 64 実績値 64 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 〇 廃止 施設運営の方向性 ● 現状維持 ○ その他(〇 有 (変更内容: 管理形態の変更の推移

利用者・地域のニーズ ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開

〇指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる 必要がある。

〇施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが 必要である。

◯指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。

議会、利用者等 からの意見

課題に対する

現時点での考え

現状・課題

I施設	の概要			施設コート	S04	-03-16	
施	記 設名	西尾久ふれる	あい館				
所	f在地	西尾久八丁	33番31号				
剖	『課名	区民生活部	区民施設課				
施設の履歴		時期 建築費		財源内]容(単位:	千円)	
加也高文	の限定	时别	(単位:千円)	国・都区債ー		一般財源	
	建築	平成16年	366, 751				
	増改築①						
	増改築②						
併	設施設						
竣工	年月日	平成16年	59月21日		区職員	その他	
供用開	始年月日	平成16年	10月12日	職員数	0	15	
7	構造	鉄竹	骨造	階層 地上3階			
	面積	敷地	.面積	778 m²			
· ·	四 作		面積	1, 189. 16 m ²			
□ 設置 E	的・経緯			広い世代の交		舌動を促進	
以巨口	1日2 小工小士	することに。	より心豊かな	地域社会の形	成を図る		
関	連部署						
根拠	l法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則			
	置条例	荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車	場の状況	2台 バ	ジリアフリー	● エレベータ		(レ	
駐輪	場の状況	50台	対応状況	▲ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ	





Ⅱ管理運営の状況

令和3年4月1日 から 管理形態 指定管理 株式会社 日本デイケアセンター 期間 令和8年3月31日 まで · 児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 事業内容 ・貸室事業 など 対象者 -般区民他 運営時間 午前9時~午後10時

運営時間等 休日 年末年始

		平成30年度	节和兀平度	节和2年度	节和3年度	市和4年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	42, 139	34, 278	17, 980	27, 603	28, 086
設	貸室利用者数(人)	21, 276	20, 643	10, 467	13, 960	
基	開館日数(日)	357	358	303	357	357
本	利用者評価(%) ※	39	38	45	55	_
デ	指定管理料(千円)	47, 893		50, 358		
	指定管理者の支出合計(千円)	42, 799	46, 595	50, 754	46, 062	51, 957
タ	指定管理者の人件費(千円)	26, 053	28, 828	32, 411	28, 417	31, 130
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	2, 626	2, 504	2, 781	3, 462	3, 350
用係定	管理費	13, 185	13, 114		13, 063	
等る管	人件費	26, 053				31, 130
費理	修繕費	935	2, 149	2, 296	1, 120	1, 127

〇令和4年度欄の金額は協定額である。

〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務詞	者表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>		物件費	50, 968	61, 347	10, 379	∠ 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	1, 387	1, 387	都支出金	261	101	▲ 160
政	行	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	89	80	▲ 9	人 使用料及び手数料	577	624	47
^	費	減価償却費	12, 989	12, 989	0	その他	32	205	173
=+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	870	1, 080	210
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 63, 176	▲ 74, 723	▲ 11, 547
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 637	▲ 506	131
		行政費用合計(b)	64, 046	75, 803		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 63, 813	▲ 75, 229	▲ 11, 416
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 63, 813	▲ 75, 229	▲ 11, 416
	勘定科目		R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	8, 787	8, 920	133
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	8, 787	8, 920	133
貸		有形固定資産	320, 252	307, 262	▲ 12, 990		0	0	0
一件		土地	121, 506	121, 506	0	その他の流動負債	0	0	0
借対照表	固	建物	376, 028	376, 028		固定負債	27, 164	18, 244	▲ 8, 920
昭	定	建物減価償却累計額	177 , 282	▲ 190, 271	▲ 12, 989		27, 164	18, 244	▲ 8, 920
表	資	工作物等	6, 053	6, 053	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 053	▲ 6, 053	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	35, 951	27, 164	▲ 8, 787
		建設仮勘定	0	0		正味財産	284, 301	280, 098	▲ 4, 203
	L	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	284, 301	280, 098	▲ 4, 203
	資.	産の部合計	320, 252	307, 262	▲ 12, 990	負債及び正味財産の部合計	320, 252	307, 262	▲ 12, 990
/-++-									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	44	45	48. 0	51. 4	
財	1㎡当たりコスト(円)	54, 031	53, 502	53, 858	63, 745	
終	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	61	62	64	61. 7	
務指標	経費に占める収入の割合(%)	2	2	1	1. 4	
煙	利用者1人当たりコスト(円)	1, 013	1, 158	2, 251	1, 824	
17.5	開館1日当たりコスト(円)	179, 978	177, 718	211, 373	212, 333	
評						
一品						
指						
標						
等						
च						
備考	 指定管理料に占める人にかかるコストの割合は	概ね6割程度で推	挂移している 。			

男学の士白州 (配答の来っ士)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)
計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)
	指標名・単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度 R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率 (%)
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無 (変更内容:
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。
議会、利用者等からの意見	

I施記	役の概要			施設コート	š S04	-03-12		
	施設名	東尾久小沼	ひろば館					
	所在地	東尾久一丁	目21番23号					
+	部課名	区民生活部	区民施設課					
施設の履歴		時期	建築費	財源内容(単位:千円)				
加也	設り復定	时刊	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
	建築	昭和51年						
	増改築①							
	増改築②							
伊	併設施設							
竣.	工年月日	昭和514	平7月24日		区職員	その他		
供用	開始年月日	昭和51:	年9月3日	職員数	数 0			
	構造	鉄	骨造	階層 地上2階				
	面積	敷地	也面積	463. 30 m²				
	山頂	延床	面積	303 m²				
10.33	目的・経緯		相互交流して					
改旦	口口7 - 水土水丰	高齢者福祉	の増進を図る	ためのレクリ	エーション(の場の提供		
艮]連部署							
根	拠法令等		ひろば館条例		<u></u>			
	设置条例	荒川区区民	ひろば館管理					
	基場の状況		• • •	O エレベーク		イレ		
駐輔	帰場の状況	15台	対応状況	点字ブロ:	ック ● スロ	ロープ		



Ⅱ管理道	運営の状況	2										
管理	里形態	委託	梢	大式会社 ワコー	インターナショナ	ル	期間	令和2年7 令和5年3		から まで		
	美内容		会や文		「館利用者相互の交	流を図	る事業	12.122.12				
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)											
運営	運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時) 1											
~												
	+ * 4 + -			平成30年度	令和元年度	令	1 040	<u> </u>	令和4年度	(見込み) 3,702		
	<u>事業参加者数(人)</u> 5,921 4,006 1,949 2,325 2,325 1,949 2,325 2,32											
設	貸室利用			695	509		100	217		700		
基	開館日数			359	360		275	359		359		
本 デ	安託科人	件費(千円) ※		_	_		5, 231	7, 633		7, 897		
Ιί							+					
タ												
等												
	※令和2年	₹7月から委託化										
に指												
用係定												
等る管 費理												
貝垤												
備考					営、2年4月から6月 ち人件費相当額。	までは	大内装改修工事	のため休館、7月	から委託化	ن ه د		

皿財	務計	者表						単)	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
2-		物件費	6, 774	8, 857	2, 083	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	7, 241	161	▲ 7, 080	和 都支出金	3, 023	4, 030	1, 007
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス		補助費等	87	1	▲ 86	【 使用料及び手数料	5	16	11
	費	減価償却費	70	70	0	へその他	0	0	0
<u>₽</u> +	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 028	4, 046	1, 018
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11, 144	▲ 5, 043	6, 101
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	14, 172	9, 089	▲ 5, 083	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11, 144	▲ 5, 043	6, 101
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11, 144	▲ 5, 043	6, 101
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流量	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	N/ME IX	0	0	0
貸		有形固定資産	67, 410	67, 340	▲ 70		0	0	0
月		土地	66, 715	66, 715	0	その他の流動負債	0	0	0
借 対	⊞	建物	57, 013	57, 013	0	固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 57, 013	▲ 57, 013	0	特別区債	0	0	0
照表	上資	工作物等	1, 045	1, 045	0	退職給与引当金	0	0	0
20	産	工作物等減価償却累計額	▲ 350	▲ 420	▲ 70	その他の固定負債	0	0	0
	圧	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	67, 410	67, 340	▲ 70
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	67, 410	67, 340	▲ 70
	資	産の部合計	67, 410	67, 340	▲ 70	負債及び正味財産の部合計	67, 410	67, 340	▲ 70

備 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている(令和2年度の維持補修 考 費は内装改修工事の実施による増。令和2年7月から委託化)。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	99	99	99	98. 9	
財	1㎡当たりコスト(円)	64, 454	43, 108		29, 950	
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)※	75	91.0		84. 0	
指	経費に占める収入の割合(%)	25	31	21	44. 5	
標	利用者1人当たりコスト(円)	2, 956	2, 897	6, 917	3, 576	
1示	開館1日当たりコスト(円)	54, 485	38, 206	51, 535	25, 318	
評						
一価						
指						
標						
等						
寺						
	※令和2年7月から委託化					

備 行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ内装改修工事の 考 実施による維持補修費の増により行政費用の総額が大幅に増加したため、人にかかるコストの割合が相対的に低下した。

Ⅳ 施設運営の方向性 (所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープラン H30年度 R元年度 R2年度 O 無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R4年度(見込み) R3年度 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 75 実績値 79 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 令和2年7月から運営業務を委託 ● 有 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 〇施設·設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 現状・課題 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する ○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施設の構	既要			施設コート	š S04	-03-13			
施設	名	東尾久三	Γ目ひろば館						
所在	地	東尾久三	Γ目5番17 号						
部課	名	区民生活部	邻区民施設課						
施設の	屋麻	時期	建築費	財源内	· 容(単位:千円)				
加設した	限	时期	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
3	建築	昭和48年	<u> </u>						
増さ	收築①								
	收築②								
併設的	設								
竣工年	月日	昭和48	3年3月30日		区職員	その他			
供用開始	年月日	昭和48	3年4月10日	職員数	0	3			
構造	<u> </u>	釒	失骨造	階層	地上	-2階			
1:	ŧ	敷	地面積		-	314 m ²			
面積	Į	延	床面積			287 m ²			
凯罢口 奶	- 奴给	地域住民だ	が相互交流して	自主的な活動	カを進めるた。	めの場及び			
設置目的	" 在辩	高齢者福祉	止の増進を図る	ためのレクリ	リエーション	の場の提供			
関連音	『署								
根拠法	令等	荒川区区	民ひろば館条例	・同施行規則	<u> </u>				
設置条	€例	荒川区区	民ひろば館管理	運営要綱					
駐車場の		無	バリアフリー	0 エレベーク	ター 〇ト~	<u></u> (レ			
駐輪場の)状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● ス۱	ロープ			



Ⅱ管理選	運営の状況	2									
管理	里形態	委託	東尾久三丁目び	ろば館運営委員会		期間	令和3年4 令和4年3		から まで		
事業	美内容	・地域別演芸大	レクリエーション事業 会や文化祭等のひろは 圧電界保健装置等)の	ば館利用者相互の交	流を図	<u> </u> る事業	ከ ተከተ ተ	дог ц	180		
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)										
運営	運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時) 国営時間等 中間日 日曜日 2月 佐ま佐が(貸客事業は佐ま佐がのみ)										
	□ 休日 日曜日、祝日、年末年始(貸室事業は年末年始のみ) □ 平成30年度 □ 令和元年度 □ 令和2年度 □ 令和3年度 □ 令和4年度(見込み)										
施	事業参加	<u> </u>	9, 562	7,591	T.	2, 790	2,069	7 和4千尺	(元之())		
設	貸室利用		1, 595			216	225		-		
基	開館日数		359	360		305	359		_		
本 デ	委託料人	件費(千円)	5, 351	5, 805		5, 913	5, 252		-		
゠゠゙											
タ											
等											
-											
に指											
用係定 等る管											
サの官											
備考	〇新型コ	ロナウイルス感	、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、 (本町通りふれあい館が	国の緊急事態宣言				で休館した	0		

皿財	務諸表							(单	单位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		-関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>4</i> -	物件		6, 742	6, 032	▲ 710	_年 国庫支出金	0	0	0
行政		補修費	0	0	0	都支出金	3, 362	3, 466	104
以コ	行 扶助		0	0	0		0	0	0
]費等	165	307	142	λ 使用料及び手数料	23	23	0
		i償却費	0	0	0	その他	9	16	7
計		欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 394	3, 505	111
算		・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3, 513	▲ 2,834	679
書)他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		෭費用合計(b)	6, 907	6, 339		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3, 513	▲ 2,834	679
	特別費		0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収	支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 3, 513	▲ 2,834	679
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流 収入		0	0	0	流動負債	0	0	0
	餈 ´1`ハヤ	欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
)他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸		固定資産	76	76	0	賞与引当金	0	0	0
一件		土地	76	76	0	その他の流動負債	0	0	0
성		建物	21, 792	21, 792		固定負債	0	0	0
借対照表		建物減価償却累計額	▲ 21, 792	▲ 21, 792	0	特別区債	0	0	0
表		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
		L作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形	固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		战仮勘定	0	0		正味財産	76	76	0
)他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	76	76	0
	資産の	部合計	76	76	0	負債及び正味財産の部合計	76	76	0
/±									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0						
財	1㎡当たりコスト(円)	28, 199	26, 055	24, 043						
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	66	78	86	82. 9					
指	経費に占める収入の割合(%)	41	46	49. 1	55. 3					
標	利用者1人当たりコスト(円)	726	833	2, 298	2, 763					
175	開館1日当たりコスト(円)	22, 565	20, 792	22, 646	17, 657					
評										
一品										
指										
標										
等										
ਚ										
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7~8割程度で推移している。									

IV 施設運営の方向性	(所管の考え)	方)						
計画の有無	〇無	● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名	・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働]率(%)	目標値 実績値	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	80	<u> </u>
施設運営の方向性	O 転用・ O 現状約		O 民営 ⁽ O その(也(他施設との		廃止)
管理形態の変更の推移	● 有 ○ 無	(変更内容:	平成13年4	月から町会等	で構成され	る運営委員	会へ委託)
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象	良としたレク	リエーション	/事業の充実				
現状・課題	〇利用者が固 ことが課是		[向があり、新	が規利用者が 対	気軽に利用で	きるような蕚	事業展開を図	っていく
課題に対する 現時点での考え	○ふれあい食	官からの情報	発信を適切に	二実施し、地均	域住民に事業	内容等の周知	田を図ってい	<∘
議会、利用者等 からの意見								

I施設の概要			施設コート	š S04	-03-15		
施設名	西尾久みと	ごりひろば館					
所在地	西尾久四丁						
部課名	区民生活部	『区民施設課					
施設の履歴	時期	建築費	財源内	內容(単位:	(単位:千円)		
心改り腹腔	时州	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
建築	昭和53年	:					
増改築①							
増改築②							
併設施設							
竣工年月日	昭和5	3年3月9日		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和5	3年6月1日	職員数	0	4		
構造	鉄筋コン	/クリート造	階層	地上9階建の	うち1階部分		
面積	敷	地面積	都営西尾久	4丁目アパー	·卜敷地内 ㎡		
山惧	延	床面積			275 m²		
設置目的・経緯	地域住民が	が相互交流して	自主的な活動	かを進めるため	めの場及び		
改直日的"柱碑	高齢者福祉	止の増進を図る	ためのレクリ	リエーション	の場の提供		
関連部署							
根拠法令等		そひろば館条例		<u></u>			
設置条例	荒川区区国	そひろば館管理	運営要綱				
駐車場の状況	****	バリアフリー	O エレベー!	ў— О Г -	<u> </u>		
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● ス	ロープ		



Ⅱ管理道	軍営の状況	?										
管理	里形態	委託	特定非営利活動法。	 人 ワーカーズコー	-プ 期間	令和4年						
						令和7年3	HOLD BC					
	美内容	・地域別演芸大 ・貸室事業	「レクリエーション事業 会や文化祭等のひろに	ば館利用者相互の交	流を図る事業							
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)											
13日	運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時)											
建占	付回寺 休日 日曜日、祝日、年末年始(貸室事業は年末年始のみ)											
	平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度(見込み)											
施	事業参加	2 4, 065										
設	貸室利用	者数(人)	2, 095		59	8 937						
基本	開館日数	(日)	359	360	30	5 359	359					
本	委託料人	件費(千円)	6, 312	7, 052	6, 53	4 6, 491	6, 633					
デ												
タ												
等												
に指												
用係定												
等る管												
費理												
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		を受け、令和2年4	月8日から5月31日ま	で休館した。					

皿財	務記	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	8, 180	8, 333	153	_~ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	688	606	▲ 82	都支出金	3, 664	3, 664	0
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	4	3	▲ 1	人 使用料及び手数料	16	24	8
^ -	費	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
=+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		3, 680	3, 688	8
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5, 192	▲ 5, 254	▲ 62
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	8, 872	8, 942		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5, 192	▲ 5, 254	▲ 62
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5, 192	▲ 5, 254	▲ 62
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	0	0	0		0	0	0
貸借対		土地	0	0	0	C 07 100 07 7/10 201 350 150	0	0	0
쉬	固	建物	0	0	0	四尺尺尺	0	0	0
昭	定	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
照表	資	工作物等	0	0	0		0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	ての心の固た天民	0	0	0
	<i>'</i>	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	0	0	0
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0
	資	産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0
/供									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-					
財	1㎡当たりコスト(円)	31, 073		32, 217	32, 471				
終	人にかかるコストの割合(委託)(%)	74	90. 0	74	72. 6				
務指標	経費に占める収入の割合(%)	37	47	42	41. 2				
煙	利用者1人当たりコスト(円)	911	1, 107	2, 899	1, 788				
17.5	開館1日当たりコスト(円)	23, 836	24, 283	29, 089	24, 908				
評									
価									
指									
標									
等									
ग									
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。								

施設運営の方向性 (所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性										
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)			
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)			
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>	<u> </u>	— 81	80				
施設運営の方向性	〇 転用·多目的化 〇 現状維持	〇 現状維持 〇 その他(
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: O 無	平成28年4	月から運営業	終を委託)			
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレク	リエーション	/事業の充実							
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対 ○将来的なふれあい館へ 行っていく必要がある ○利用者のニーズに沿っ が必要である。 ○利用者が固定化する傾 ことが課題である。	の移行を見掛 。 た館運営によ	居えながら、R にりサービス(利用者の使用の維持向上を	実態に応じた図って利用者	首を確保して	いくこと			
課題に対する 現時点での考え	○施設の現状を把握し、	適切な修繕を	そ行い、利用を	者ニーズに対	応していく。					
議会、利用者等からの意見										

I施	設の概要			施設コード S04-03-17				
	施設名	東日暮里ふ	れあい館					
	所在地	東日暮里一	丁目17番13号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
th	むの屋麻	時期	建築費	建築費 財源内容(単位:日				
ЛŒ	設の履歴	时机	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
	建築	昭和47年						
	増改築①							
	増改築②							
1	并設施設							
竣	工年月日	昭和47年	₹12月1日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成17:	年4月1日	職員数	0	10		
	構造	鉄骨鉄筋コ	ンクリート造	階層	地上14階建の	うち1・2階部分		
	面積	敷地	也面積	都営東日暮里1丁目アパート敷地内				
	山 作	延床	面積	1, 176. 87 r				
記書	目的・経緯	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	流と自主的流	舌動を促進		
以但	一口 ログ ・ 小主小年	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る			
Į.	関連部署							
根	拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則				
Ī	设置条例	荒川区ふれ	あい館管理運	営要綱				
駐車	車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーク	> ─ ►1	ヘ		
駐車	論場の状況	45台	対応状況	● 点字ブロ	ック ● スロ	コープ		





	Ⅱ管理運営の状	況									
ĺ	管理形態	指定管理	学校法人	道灌山学園	期間	令和4年4	月1日 から				
١	官理形態	拍走官理	子校法人	担准 山子图	一切目	令和9年3	月31日 まで				
ĺ		・児童育成事業									
١	市業出家	高齢者レクリ	・高齢者レクリエーション事業								
١	事業内容	・中高生·成人	中高生・成人向け、世代間交流事業								
┃ ・ 貸室事業 など											
ĺ	対象者	一般区民他									
ĺ		運営時間	午前9時~午後10時								
١	建呂时间守	休日	年末年始	 丰末年始							
ĺ			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)				
	施事業参加	口者数(人)	38, 122	33, 554	8, 951	10, 041	10, 350				
	設 貸室利用	用者数(人)	15, 608	14, 705	6, 383	5, 826	38, 212				
	基開館日数	牧(日)	353	354	298	353	353				
	木 利田老司	亚価 (06) 💥	10	17	40	20	_				

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	38, 122	33, 554	8, 951	10, 041	10, 350
設 基	貸室利用者数(人)	15, 608	14, 705	6, 383	5, 826	
	開館日数(日)	353	354	298	353	353
本	利用者評価(%) ※	49	47	49	29	
デ	指定管理料(千円)	52, 366	53, 957	49, 406	53, 441	60, 610
	指定管理者の支出合計(千円)	52, 672	55, 135	48, 862	49, 102	58, 463
タ	指定管理者の人件費(千円)	37, 166	38, 506	35, 017	34, 802	40, 800
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	2, 818	2, 412	1, 448	1, 936	2, 500
用係定 等る管	管理費	11, 602	12, 163	11, 289	11, 279	14, 047
	人件費	37, 166	38, 506		34, 802	40, 800
費理	修繕費	1, 086	2, 054	1, 108	1, 085	1, 116

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計	' 者表						(単	
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>		物件費	55, 226	55, 220	▲ 6	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	83	212	129	都支出金	249	88	▲ 161
政	行		0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	29	118	89	7 使用料及び手数料	462	351	▲ 111
 	費	減価償却費	0	0	0	その他	39	4, 086	4, 047
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	750	4, 675	3, 925
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 54, 588	▲ 50, 875	3, 713
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	55, 338	55, 550		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 54, 588	▲ 50, 875	3, 713
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 54, 588	▲ 50, 875	3, 713
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	0	32, 945	32, 945		0	0	0
一件		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
貸借対照表	田	建物	257, 869	290, 814	32, 945	固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	257 , 869	257 , 869	0	特別区債	0	0	0
	定	工作物等	0	0	0		0	0	0
表	咨					フの心の国ウム圧	Λ	Λ	0
表	資産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	V	
表	資産	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
表	資産	無形固定資産 建設仮勘定	0	0	0	負債の部合計 正味財産	0	0 32, 945	
表		無形固定資産	•	0	0	負債の部合計	0	32, 945 32, 945 32, 945 32, 945	32, 945 32, 945 32, 945 32, 945

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	88. 7					
財	1㎡当たりコスト(円)	47, 417	48, 528		47, 201					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	71	70	72	70. 9					
岩	経費に占める収入の割合(%)	4	2	1	8. 4					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 039	1, 183	3, 609						
1示	開館1日当たりコスト(円)	158, 085	161, 331	185, 698	157, 365					
評										
一価										
指										
標										
等										
寸										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。									

『学の士白州(武等の老さ士)

Ⅳ 施設運営の方向性		
計画の有無	┃ 〇 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)
	指標名·単位 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度	R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%) 目標値 — — — — — — 50	
	JAIN I	53 —
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()
管理形態の変更の推移	〇 方 (亦再内容))
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開	
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕に必要がある。○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保し必要である。	質の向上を図 援す
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。	に努め、
議会、利用者等 からの意見		

I施	設の概要			施設コート	š S04	I - 03-18		
	施設名	タやけこや	けふれあい館					
	所在地	東日暮里三	丁目11番19号	1				
	部課名	区民生活部	区民施設課					
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都	千円) 一般財源			
	建築	平成25年	662, 408	四 - 111)	区債	刊又只1/1/示		
	増改築①	1 79020 1	002, 100					
	増改築②							
1	并設施設							
竣	工年月日	平成254	羊3月12日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成25	年4月1日	職員数	0	19		
	構造	鉄筋コン	クリート造	階層	地上4階建の	うち3・4階部分		
	面積	敷坩	也面積	夕やけこやけ保育園敷地内				
	山惧	延月	正面積	1, 570. 00 r				
シ書	目的・経緯	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	流と自主的	活動を促進		
改旦	一口 口7 一 作神	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る			
Į.	関連部署							
	拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則				
Ī	设置条例	荒川区ふれ	あい館管理運					
駐車	車場の状況		バリアフリー	● エレベーク		イレ		
駐車	論場の状況	43台	対応状況	▲ 点字ブロ:	ック ● ス	ロープ		





Ⅱ管理運	営の状況										
管理	形態	指定管理	社会福祉法	人 教信精舎	期間	平成30年 令和5年3					
事業		・中高生·成人向 ・貸室事業	エーション事業 可け、世代間交流事業 なと	: :							
対象	象者	一般区民他									
運営町	寺間等		午前9時~午後10時 年末年始								
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)				
	事業参加	者数(人)	53, 211	44, 250	15, 54 ₄						
設	貸室利用	者数(人)	53, 007	39, 404	20, 75	1 28, 957					
設基	基 開館日数(日) 357 357 302						357				
本	利用者評	J用者評価(%) ※ 50 43 58									
デ	指定管理	料(千円)	54, 410	54, 940	55, 45	59, 638	58, 747				
	指定管理	者の支出合計(千円)	9) 51, 132	50, 542	49, 85	2 50, 826	55, 685				
-			22 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1								

指定管理者の人件費(千円) 38, 222 38, 258 38, 268 37, 813 39, 179 ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合 運営費 管理費 人件費 修繕費 2, 788 8, 518 38, 268 1, 924 8, 849 38, 222 3, 712 8, 440 1, 601 8, 209 に指 用係定 等る管 費理 38, 258 37, 813 39, 179

備考

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i> _		物件費	61, 095	60, 416	▲ 679	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	8, 962	0	▲ 8, 962	都支出金	278	88	▲ 190
政	行	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	29	72	43	使用料及び手数料	802	1, 090	288
_	費	減価償却費	16, 122	16, 122	0	その他	3, 304	4, 679	1, 375
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 384	6, 007	1, 623
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,824	▲ 70, 603	11, 221
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 280	▲ 3, 007	273
		行政費用合計(b)	86, 208	76, 610	▲ 9, 598	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 85, 104	▲ 73, 610	11, 494
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 85, 104	▲ 73, 610	11, 494
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	29, 762	30, 038	276
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	29, 762	30, 038	276
14		有形固定資産	468, 126	452, 004	▲ 16, 122	賞与引当金	0	0	0
月出		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
 	L	建物	597, 099	597, 099	0	固定負債	262, 282	232, 244	▲ 30, 038
貸借対照表	固定	建物減価償却累計額	128 , 973	145 , 095	1 6, 122	特別区債	262, 282	232, 244	▲ 30, 038
来	資	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
10	産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	1/4	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	292, 044	262, 282	2 9, 762
		建設仮勘定	0	0		正味財産	176, 082	189, 722	13, 640
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	176, 082	189, 722	13, 640
	資.	産の部合計	468, 126	452, 004	▲ 16, 122	負債及び正味財産の部合計	468, 126	452, 004	▲ 16, 122
借									

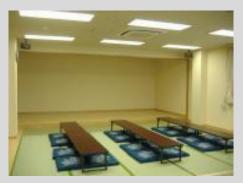
	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	16	19	22	24. 3					
財	1㎡当たりコスト(円)	45, 276	45, 404	51, 782	46, 016					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	75	76	76	75. 2					
指	経費に占める収入の割合(%)	3	6. 0	5	7. 8					
標	利用者1人当たりコスト(円)	710	904	2, 375	1, 423					
1示	開館1日当たりコスト(円)	211, 143	211, 737	285, 457	214, 594					
評										
一価										
指										
1日 +西										
標等										
寺										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。									

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	○ 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	'整備ニュース	プラン)			
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)			
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値			<u> </u>	<u> </u>	_			
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	○ 民営(○ その(他施設との	統合(廃止)			
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無)			
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業別	展開						
現状・課題	○指定管理者による設備付 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担何 ると共に、施設の維持行 ○利用者のニーズに沿って 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよう、糾	て職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。			
課題に対する 現時点での考え		〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。								
議会、利用者等からの意見										

I施	設の概要			施設コート	\$ S04	-03-21		
	施設名	西日暮里ふれ	れあい館					
	所在地	西日暮里六	丁目24番4号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源		
	建築	平成20年	407, 967			72-47-5 1112		
	増改築①							
	増改築②							
1	併設施設							
竣	建工年月日	平成204	年2月1日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成204	年4月1日	職員数	0	9		
	構造	鉄帽	骨造	階層 地上3階				
	面積	敷地	.面積	,		776. 20 m i		
	山惧	延床	面積	1, 261. 63 n				
10.13	置目的・経緯		高齢者まで幅			舌動を促進		
以但	了口口A 2 小子小士	することに。	より心豊かな	地域社会の形	成を図る			
	<u>関連部署</u>							
根	!拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則				
	設置条例	荒川区ふれる	あい館管理運					
_	車場の状況	2台 バ	バリアフリー	● エレベータ	z— •	し し		
駐車	輪場の状況	49台	対応状況	点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		





Ⅱ管理運営の状況

□官理選	2呂の仏辺	<u> </u>									
管理	!形態	指定管理	学校法人	道灌山学園	期間	令和2年4 令和7年3					
	内容	高齢者レクリ中高生・成人「貸室事業									
対象	象者	一般区民他									
海台區	寺間等	運営時間	午前9時~午後10時								
建五	可則可	休日	年末年始								
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)				
施	事業参加	者数(人)	39, 449	34, 927	14, 534	18, 138	19, 842				
設	貸室利用者数(人) 31,125 27,646 14,557 20,688										
基 開館日数(日) 355 356 300 354							354				
	利田老証	価(%) ※	52	48	42	35	_				

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施 設 基	事業参加者数(人)	39, 449	34, 927	14, 534	18, 138	19, 842
	貸室利用者数(人)	31, 125	27, 646	14, 557	20, 688	24, 484
	開館日数(日)	355	356	300	354	354
本	利用者評価(%) ※	52	48	42	35	_
デ	指定管理料(千円)	52, 607	53, 060	50, 756	58, 647	58, 467
	指定管理者の支出合計(千円)	52, 011	53, 278	48, 090	55, 723	
タ	指定管理者の人件費(千円)	37, 060	38, 503	34, 381	38, 555	39, 170
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	2, 613	2, 123	1, 209	2, 079	2, 200
用係定	管理費	11, 368	11, 710	11, 399	12, 948	
等る管	人件費	37, 060	38, 503	34, 381	38, 555	
費理	修繕費	970	942	1, 101	2, 141	2, 072
		-		-		_

〇令和4年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>,</i> –		物件費	58, 255	59, 328	1, 073	_年 国庫支出金	0	150	150
行		維持補修費	0	425	425	都支出金	270	101	▲ 169
政	行	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	58	62	4	7 使用料及び手数料	800	914	114
 	費	減価償却費	14, 621	14, 621	0	その他	336	6, 884	6, 548
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 406	8, 049	6, 643
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 71, 528	▲ 66, 387	5, 141
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 812	▲ 698	114
		行政費用合計(b)	72, 934	74, 436		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 72, 340	▲ 67, 085	5, 255
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 72, 340	▲ 67, 085	5, 255
	勘定科目		R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流 <u>動負債</u>	6, 075	6, 191	116
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	6, 075	6, 191	116
岱		有形固定資産	371, 452	356, 831	▲ 14, 621	賞与引当金	0	0	0
一件		土地	125, 375	125, 375	0	その他の流動負債	0	0	0
쓔	田	建物	415, 484	415, 484		固定負債	32, 160	25, 969	▲ 6, 191
貸借対照表	固定	建物減価償却累計額	170 , 989	▲ 184, 789	1 3, 800		32, 160	25, 969	▲ 6, 191
表	資	工作物等	12, 265	12, 265	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 10, 683	▲ 11, 505	▲ 822	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	38, 235	32, 160	▲ 6, 075
		建設仮勘定	0	0		正味財産	333, 217	324, 671	▲ 8, 546
	<u></u>	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	333, 217	324, 671	▲ 8, 546
	資.	産の部合計	371, 452	356, 831	▲ 14, 621	負債及び正味財産の部合計	371, 452	356, 831	▲ 14, 621
/±±									

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	36	39	43	45. 9			
財	1㎡当たりコスト(円)	53, 891	55, 126	57, 809	59, 000			
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	71	72	72	69. 2			
岩	経費に占める収入の割合(%)	4	2	2	10. 8			
指標	利用者1人当たりコスト(円)	963	1, 111	2, 507	1, 917			
1示	開館1日当たりコスト(円)	191, 524	195, 362	243, 113	210, 271			
評								
一価								
指								
標								
等								
-1								
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。							

体設運営の方向性(所管の考え

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース)
	指標名・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>				- — 2 —
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営 ⁽ O その(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う、 糾	ご職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-20
	施設名	諏訪台ひろに	ば館			
	所在地	西日暮里三	丁目3番12号			
	部課名	区民生活部	区民施設課			
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都	· 容(単位: · 区債	千円) 一般財源
	建築	昭和50年				
	増改築①					
	増改築②					
1	併設施設					
竣	工年月日	昭和50年	¥4月1日		区職員	その他
供用	開始年月日	昭和50年	平4月9日	職員数	0	4
	構造	鉄帽	骨造	階層	地上	-2階
	面積	敷地	.面積			397 m ²
	四個		面積			302 m²
設署	目的・経緯			自主的な活動		
以巨	「口口」 小工小士	高齢者福祉の	0増進を図る	ためのレクリ	エーション	の場の提供
	<u>関連部署</u>					
-	拠法令等			・同施行規則	J	
-	設置条例		Jろば館管理	運営要綱		
	車場の状況	1台 バ	リアフリー	O エレベーク	₹— O 1-1	\rangle
馬主車	論場の状況	15台	対応状況	○ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ



Ⅱ管理道	運営の状況	2								
管理	T形態	委託	諏訪台ひろ	ば館運営委員会		期間	令和4年4		から	
						7711.3	令和5年3	月31日	まで	
・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具(高圧電界保健装置等)の設置 ・貸室事業										
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)									
運営	■営時間等 単 運営時間 単午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時)									
~		休日	日曜日、祝日、年末年				A = 0 = ±			
		-Leader ()	平成30年度	令和元年度		和2年度	令和3年度	令和4年度		
施	事業参加		13, 389			4, 585	6, 295		6, 810	
設基	貸室利用		2, 724			1, 386	3, 231		3, 480	
基	開館日数		359			305	359		359	
本 デ	<u> </u>	件費(千円)	5, 377	5, 482		5, 553	5, 764		6, 667	
テ										
タ 等										
寺										
に指										
用係定 等る管										
費理										
7-44-	0.2.2.00	1 11 # 0 ^ # 1	田兴业办工会业。	- L I III ## 15 10 #*						
備			、運営業務委託料の			A 100 F 1 D 1)	- 4-		
考	〇新型コ	ロナウイルス感	染症拡大防止のため、	国の緊急事態宣言で	を受け、	、令和2年4月8	3日から5月31日ま	で休館した	- 0	

皿財	務計	 皆表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>		物件費	6, 952	6, 770	▲ 182	∠ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	237	351	114	都支出金 政 公司公司 (1)	3, 362	3, 466	104
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス		補助費等	24	247	223	大 使用料及び手数料	72	151	79
\ \frac{1}{r}		減価償却費	57	57	0	その他	26	36	10
¹ <u> </u> ‡+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		3, 460	3, 653	193
計算書		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,810	▲ 3, 772	38
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	7, 270	7, 425	155	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,810	▲ 3, 772	38
		引費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,810	▲ 3, 772	38
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	80, 782	80, 725	▲ 57	賞与引当金	0	0	0
貝		土地	78, 000	78, 000	0	その他の流動負債	0	0	0
貸借対照表	固	建物	55, 345	55, 345	0	固定負債	0	0	0
昭	定	建物減価償却累計額	▲ 55, 345	▲ 55, 345	0	特別区債	0	0	0
表	資	工作物等	2, 839	2, 839	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 57	▲ 114	▲ 57	その他の固定負債	0	0	0
	<i>'</i>	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	80, 782	80, 725	▲ 57
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	80, 782	80, 725	▲ 57
	資	産の部合計	80, 782	80, 725	▲ 57	負債及び正味財産の部合計	80, 782	80, 725	▲ 57

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	95	95	95. 3	
財	1㎡当たりコスト(円)	28, 984	74, 814	24, 098		
終	人にかかるコストの割合(委託)(%)	62	24	76	77. 6	
務指標	経費に占める収入の割合(%)	39	16		49. 2	
煙	利用者1人当たりコスト(円)	543	1, 509	1, 218	779	
17.5	開館1日当たりコスト(円)	24, 357	62, 694	23, 836	20, 682	
評						
一品						
指						
標						
等						
च						
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、	通常は概ね6~7	割程度で推移し	ている。		

Ⅳ 施設運営の方向性		/=! 	- L L - Al	+	0		
計画の有無	○無●有	<u>(計画名:</u>		整備ニュース	-)
目標指標	指標名·単位 施設稼働率(%)	目標値実績値	H30年度 — 48	R元年度 — 52	R2年度 — 69	R3年度 — 63	R4年度(見込み)
施設運営の方向性	● 転用·多目的化 ○ 現状維持	O 民営(O その(也(他施設との		廃止)
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ○ 無	平成10年4	月から町会領	いまま で構成され	る運営委員:	会へ委託)
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレク	リエーション	事業の充実				
現状・課題	○施設・設備の老朽化になる ○将来的なふれあい館へ 行っていく必要がある ○利用者のニーズに沿っ が必要である。 ○利用者が固定化する傾 ことが課題である。	の移行を見振)。) た館運営によ	考えながら、 こりサービス(利用者の使用の維持向上を	実態に応じた	者を確保して	いくこと
課題に対する 現時点での考え	〇施設の現状を把握し、	適切な修繕を	そ行い、利用	者ニーズに対	応していく。		
議会、利用者等 からの意見							

I施認	との概要			施設コート	* S04	-03-19		
ħ	拖設名	日暮里ひろり	ば館					
F	听在地	西日暮里二	丁目10番9号					
Ę	部課名	区民生活部	区民施設課					
t√c≡	いの屋麻	時期	建築費	財源内容(単位:千円)				
加也是	設の履歴	时别	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
	建築	昭和38年						
	増改築①							
	増改築②							
併	設施設							
竣工	工年月日	昭和38年	12月18日		区職員	その他		
供用	開始年月日	昭和39年	F1月13日	職員数	7	0		
	構造	鉄筋コンク	クリート造	階層	地上	:3階		
	面積	敷地	直積	624				
	山頂	延床	面積	756. 00 n				
业署 [目的・経緯	地域住民が	相互に交流を	深め、自主的]な活動を進む	めるための		
以但「	ロロリー小土小牛	場の提供						
関	連部署							
根	処法令等	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則						
設	置条例	荒川区区民ひろば館管理運営要綱						
駐車	場の状況	1台 バリアフリー 〇 エレベーター 〇 トイレ						
駐輪	湯の状況	20台	対応状況	点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		





Ⅱ管理運営の状況

管理形態直営一期間一からまで

事業内容 貸室事業

対象者 一般区民他

運営時間 午前9時~午後10時

		怀日	牛	木牛始				
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
施	貸室利用:			64, 765	60, 256	16, 701	16, 597	-
設	開館日数	(日)		357	358	303	357	-
施設基本デ								
本								
デ								
タ								
等								
に指								
用係定等る管								
等る管 費理								
頁理								

〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。 〇令和4年4月1日にひぐらしふれあい館が開設した。これに伴い日暮里ひろば館を廃止。

皿財	務計	 者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	17, 039	17, 646	607	地方税等	0	0	0
2-		物件費	2, 847	2, 641	▲ 206	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	220	220	都支出金	0	0	0
政		扶助費	0	0	0		0	0	0
コス		補助費等	125	29	▲ 96	☆ 使用料及び手数料	730	615	▲ 115
	費	減価償却費	826	826	0	その他	20	20	0
│ ┣ │ ┃	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	750	635	▲ 115
計算書		賞与・退職給与引当金繰入額	6, 013	1, 248	4 , 765	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 26, 100	▲ 21, 975	4, 125
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	26, 850	22, 610		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 26, 100	▲ 21, 975	4, 125
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 26, 100	▲ 21, 975	4, 125
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	867	897	30
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
岱		有形固定資産	52, 343	51, 517	▲ 826	賞与引当金	867	897	30
月世		土地	32, 096	32, 096	0	その他の流動負債	0	0	0
貸借対照表	固	建物	50, 614	50, 614		固定負債	10, 029	10, 570	541
昭	定	建物減価償却累計額	▲ 30, 542	▲ 31, 350	▲ 808	特別区債	0	0	0
表	資	工作物等	264	264	0	退職給与引当金	10, 029	10, 570	541
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 88	▲ 106	▲ 18	その他の固定負債	0	0	0
	,	無形固定資産	0	0		負債の部合計	10, 896	11, 467	571
		建設仮勘定	0	0		正味財産	41, 447	40, 050	▲ 1,397
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	41, 447	40, 050	▲ 1,397
	資	産の部合計	52, 343	51, 517	▲ 826	負債及び正味財産の部合計	52, 343	51, 517	▲ 826

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費・物件費が大部分を占めている。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	57. 0	59		61.8	
財	1㎡当たりコスト(円)	29, 899	38, 060	35, 516	29, 907	
務	人にかかるコストの割合(%)	65	55	86	83. 6	
指	経費に占める収入の割合(%)	10		3	2. 8	
標	利用者1人当たりコスト(円)	349	478		1, 362	
1亦	開館1日当たりコスト(円)	63, 317	80, 372	88, 614	63, 333	
評						
一価						
指						
標						
等						
₹						

備 者 一行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね6~8割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ維持補修費の 表 減により行政費用の総額が減少したため、人にかかるコストの割合が相対的に上昇した。

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管	の考え	方)							
計画の有無	0	無	● 有	(計画名:	ふれあい館整備ニ	ニュープラン、日暮	里地域における公	共施設の順次建替	え・更新計画)	
		指標名	・単位		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)	
目標指標		ᄹᆒᆄ	. . (n/)	目標値	_	_	_	_	_	
	J	拖設稼働	辛(%)	実績値	53	55	45	42	_	
施設運営の方向性	00	転用· 現状約	多目的化 推持	O 民営(O その(他施設との	統合	廃止)	
管理形態の変更の推移	0	有無	(変更内容:)	
利用者・地域のニーズ	サー	クル等の)自主的な活	動ができる場	易の提供					
現状・課題	〇多	○多くの区民団体が円滑に活動できるよう、適切な貸室運営を実施する必要がある。								
課題に対する 現時点での考え	〇貸!	D貸室利用に関する周知を効果的に実施していく。								
議会、利用者等 からの意見										

I施設の概要				施設コート	1-03-22				
	施設名 グリーンパール那須								
	所在地	栃木県那須	郡那須町湯本	213					
	部課名	区民生活部	区民生活部区民施設課						
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都	財源内容(単位:千円) 都				
	建築	昭和57年			1	135 40 7 2 1112			
	増改築①	平成14年							
	増改築②								
1	并設施設								
竣	工年月日	昭和57:	年12月20日		区職員	その他			
供用	開始年月日	昭和3	7年8月1日	職員数	0	0			
	構造	鉄筋コン	/クリート造	階層	地上2階・地下1階				
	面積	敷:	地面積		-	16, 260. 77 m			
	山作	延	床面積	4, 030. 13 m					
設置	目的・経緯	区民の健康	ほ増進と福祉の	向上に寄与す	⁻ る。				
	関連部署	生涯学習謂	<u> </u>						
根	拠法令等								
	设置条例								
駐車	車場の状況	30台	バリアフリー	O エレベーク		イレ			
馬主車	論場の状況	0台	対応状況	点字ブロ	ック 〇ス	ロープ			





Ⅱ管理運営の状況

 管理形態
 その他
 株式会社フォレスト(運営費補助)
 期間
 令和4年4月1日
 から 令和9年3月31日

事業内容 区民利用・一般利用の予約手続き、宿泊サービスの提供、施設維持等

対象者 区内在住・在勤者とその家族(三親等以内)

運営時間 チェックイン14時より、チェックアウト10時まで

雷普	许問笙 	Œ D POI		/エックーラ14時のパー/エック/ グー10時のと									
) 理 日	時間等 休日		年	中無休(休館日を除	₹ <)								
				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)					
施	利用総人数(人)			17, 141	15, 209	11, 219	11, 982	_					
設	区民利用.	人数(人)		6, 623	6, 675	3, 103	4, 827	_					
設 基													
本	客室稼働			83	75	71	64	_					
デ	区民優先	室利用率((%)	47	48	29	37	_					
1													
タ													
等													
に指													
用係定													
等る管 費理													
, , <u> </u>	O +c Till			-14 1 BL 1 G 1 11		4 T	000 / 0000						

〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月26日から6月30日まで休館した。 〇令和4年4月1日付、土地・建物・設備を(株)フォレストに譲渡。譲渡先等公募における事業者提案により、5年間区民 保養所として運営を継続する。

皿財	務詞	潜表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
		給与関係費	0	0	0	- 0 / 3 / 1/0 - 1/	0	0	0
<i></i>		物件費	106	278	172	∠ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
政	行		0	0	0		0	0	0
コス	政		25, 920	32, 946	7, 026	λ 使用料及び手数料	114	114	0
1 ^	費	減価償却費	7, 816	6, 599	▲ 1, 217	その他	0	0	0
<u> </u> +	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	114	114	0
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 33, 728	▲ 39, 709	▲ 5, 981
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	33, 842	39, 823		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 33, 728	▲ 39, 709	▲ 5, 981
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 33, 728	▲ 39, 709	▲ 5, 981
		勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	0	20, 000	20, 000
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸		有形固定資産	149, 483	142, 884	▲ 6, 599		0	0	0
一件		土地	24, 876	24, 876	0	その他の流動負債	0	20, 000	20, 000
씱	固	建物	1, 360, 874	1, 360, 874		固定負債	0	0	0
借対照表	定	建物減価償却累計額	1 , 238, 003		▲ 6, 440		0	0	0
表	資	工作物等	77, 888	77, 888	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価負却系計額	▲ 76, 152	▲ 76, 310	▲ 158	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0
	_	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	20, 000	20, 000
		建設仮勘定	0	0		正味財産	152, 083	125, 484	▲ 26, 599
	1/27	その他の固定資産	2, 600	2, 600		正味財産の部合計	152, 083	125, 484	▲ 26, 599
	貸	産の部合計	152, 083	145, 484	▲ 6, 599	負債及び正味財産の部合計	152, 083	145, 484	▲ 6, 599
/									

^佣 区民の施設利用に必要な経費のため、行政費用のうち補助費等が大部分を占めている。 考

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	88	91	91	91.8				
財	1㎡当たりコスト(円)	21, 391	21, 328	8, 397	9, 881				
務	受益者負担比率(%)	0	0	0	0. 3				
指	経費に占める収入の割合(%)	1	0	0	0. 3				
標	開館1日当たりコスト(円)	241, 485	240, 773		111, 549				
1示	利用者1人当たりコスト(円)	5, 029	5, 652	3, 016	3, 324				
評									
一価									
指									
抽									
標等									
₹									
備考	利用者1人当たりのコストは、通常は概ね4,000円から5,000円で推移している。								

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) ● 無 ○ 有 指標名・単位 (計画名:) R4年度(見込み) 計画の有無 H30年度 R2年度 R3年度 R元年度 目標値 目標指標 100 100 100 100 100 客室稼働率(%) 実績値 83 75 71 64 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 令和4年4月1日付で民間事業者へ土地・建物・設備を譲渡 ● 有 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 〇利用者からの評価が高い施設であるが、同じお客様が1年間に何度も利用しているというデータが あるため、新規顧客の獲得に向けて積極的なPRが必要である。また、利用者は比較的高齢者が多 現状・課題 いため、新たに若い世代に向けた保養所の周知も実施していく必要がある。 ◯○区報・区営掲示板・HP等の媒体のみならず、TwitterやFacebookといった新たな媒体を活用し、 課題に対する 現時点での考え 幅広い世代へ保養所の案内やホテル実施のツアー・各種フェアの宣伝を実施していく。 議会、利用者等 からの意見